



太政類典第一編第七十八巻索引

保氏

戸籍一

- 0936 一 京都府中籍仕法書
一 京都府編製ノ戸籍法其外ノ府縣一般ニ施行セシム
五月九日
六月四日
二
- 0937 一 京都府華士族社寺籍法
一 大総督府諸藩ニ令シテ江戸ノ幕邸及ヒ閣下諸留住者ノ口数ヲ録上セシム
二月
二月
三
- 0956 一 東京府内士籍法及戸籍編製法
一 東京府武家地管轄戸籍法調査府治ノ体裁ノ五シム
十二月
十二月二日
四
- 0979 一 東京府ニ於テ府治一定スヘキヲ以テ地方關係ノ件ハ同府ノ指揮ニ依リ處置セシム
十一月十日
七
- 0995 一 長崎縣下氏子改仮規則
一 浦和縣下長徳寺境内住居ノ人口戸籍編入方ヲ仮ス
五月三
十二月
八
- 1005 一 兵庫縣戸籍編製法府市郡心得條目
一 人口戸数石高及地理ノ廣狹等ヲ調査申セシム
四月
四月
九
- 1006 一 十津川郷家数人負ヲ調査セシム
一 諸府縣貫萬元大夫士并元奥方同心等身分ヲ調査セシム
二月十日
二月
十
- 1045 一 戸籍法一定マテ石高戸教人口總計取調ニ關シテ仮定ス
二月
二月
十一
- 1047 一 戸籍法一定マテ石高戸教人口總計取調ニ關シテ仮定ス
二月
二月
十二
- 1048 一 戸籍法一定マテ石高戸教人口總計取調ニ關シテ仮定ス
二月
二月
十四
- 1049 一 戸籍法一定マテ石高戸教人口總計取調ニ關シテ仮定ス
二月
二月
十五

マイクログラフ番号

- 1070 一 府縣人口并産物等ヲ調査セシム
一 官堂以下家來并諸官人居住ニ關スル届京都府ハ出サシム
八月五日
六月三日
十六
- 1071 一 止宿人并諸官負官華族家士等姓名住所
一 止宿人并官負等家内人負調査東西京居住ヲ區別セシム
三月九日
三月十八日
十七
- 1072 一 止宿人并官負等家内人負調査東西京居住ヲ區別セシム
一 女房等ハ之ヲ除カシム
三月九日
三月十八日
十八
- 1073 一 止宿人并官負等家内人負調査東西京居住ヲ區別セシム
一 女房等ハ之ヲ除カシム
三月九日
三月十八日
十九
- 1074 一 止宿人并官負等家内人負調査東西京居住ヲ區別セシム
一 女房等ハ之ヲ除カシム
三月九日
三月十八日
二十
- 1075 一 止宿人并官負等家内人負調査東西京居住ヲ區別セシム
一 女房等ハ之ヲ除カシム
三月九日
三月十八日
廿一
- 1076 一 止宿人并官負等家内人負調査東西京居住ヲ區別セシム
一 女房等ハ之ヲ除カシム
三月九日
三月十八日
廿二
- 1077 一 止宿人并官負等家内人負調査東西京居住ヲ區別セシム
一 女房等ハ之ヲ除カシム
三月九日
三月十八日
廿三
- 1078 一 止宿人并官負等家内人負調査東西京居住ヲ區別セシム
一 女房等ハ之ヲ除カシム
三月九日
三月十八日
廿四

大政類典第一編第七十九卷索引

保民

- 11084 一 戸籍法制定 戸籍ニ 八月廿五年
- 1114 一 神職師職等ノ新々職分表祠官ノ新ニ記入セシム 八月廿五年
- 1115 一 大阪府下寄番兵負鑑交換猶豫 五月廿五年
- 1116 一 東京府下寄留人取調方 六月廿五年
- 一 寄留旅行鑑札雛形印等 六月廿五年
- 一 寄留旅行鑑札下付ノ發 七月廿五年
- 1118 一 戸籍法第四號書式中外屬ヲ以テ寄留地ニ編籍ノ例ヲ發ス 七月廿五年
- 1119 一 大小神社氏子調共ニ 七月廿五年
- 1126 一 白河縣戸籍法増付ヲ請フ批シテ便宜買收セシム 四月廿五年
- 1127 一 若松縣戸籍法施行延期ヲ請フ 五月廿五年
- 1128 一 膳澤縣戸籍法專任者増員 六月廿五年
- 1129 一 若松縣同上附戸籍法村所ニ 六月廿五年
- 1131 一 神奈川縣外國人ニ雇ハルノ内國人戸籍取調方並外國人捕吏長以下雇入ヲ候ス 四月廿五年
- 1133 一 諸侯家族並家來歸國ノ者及東京ニ滞留諸侯家族並家來歸國ノ者及東京ニ滞留者取調届出シム 九月廿五年
- 1219 一 公卿諸侯並微士左職地ノ家族召宴ヲ許ス 九月廿五年
- 1221 一 諸官負在勤先ノ家族引連ノ者放費給與方 二月廿五年

マイクロフィルム番号

- 1222 一 諸官負東京ノ家族引寄勝手タラシム但定別ノ手當給與 八月廿五年
- 1223 一 非役華族並諸官人口向取次以下同上 八月廿五年
- 1224 一 十一等以下諸官負其外非役ノ面々東京ノ家族引移ノ者大藏省ノ届出シム 十月廿五年
- 1225 一 京都府士族他府縣下ノ移住情願ニ任ス 二月廿五年
- 1226 一 元堂上並官人以下家族引連ノ東京在勤ノ輩調査 六月廿五年
- 1227 一 東京在勤華族ノ子孫有位未勤ノ輩當地ニ移住ヲ許ス 七月廿五年
- 1228 一 華族元武東京住居但知事トシテ赴任ノ向妻子携帶ヲ許ス 三月廿五年
- 1229 一 華族元堂地方官貫屬 三月廿五年
- 1230 一 華族元武東京府貫屬 四月廿五年
- 1231 一 府藩縣士族東京定府及各地ニ住居ノ者本貫ノ移住ニ及ハス送籍ニ家禄ハ管轄廳ヨリ渡サシム 二月廿五年
- 1234 一 華族及士族年貫屬督處分附京部 四月廿五年
- 1241 一 東京ノ全戸移住並寄留ノ官負其官省ノ届出東京府ノ通報方共ニ 五月廿五年
- 1243 一 士民水園ヲ脱走スルヲ禁ス共ニ 三月廿五年
- 1245 一 脱籍者官堂上附屬兵ト唱ヘ集合スルヲ禁ス 三月廿五年
- 1246 一 舊來脱藩等ノ輩舊地ニ復歸セシム 八月廿五年
- 1249 一 徳川舊旗下ニ浮浪ノ輩東京府ニ於テ取調處置セシム 十月廿五年

(マイクロ)
番号

- 1250 一 酒井忠篤所管ノ浪士大砲組ヲ家臣ト為ス
元二年 三十一
- 1251 一 舊未脱籍ノ鞆府藩縣ニ於テ篤ト取調復
歸セシム
二月三日 三十二
- 1252 一 無籍ノ者ヲ止宿セシムルヲ禁ム附他方
ヨリ逗留ノ者届出方
三月八日 三十三
- 1253 一 脱籍無産ノ者取締方會計軍務刑法三官
二月九日 三十四
- 1254 一 無籍處分方東京府ヘ達
三月三日 三十五
- 1256 一 脱籍者復籍處分ノ條款ヲ定ム
二月五日 三十六
- 1257 一 東京府戸籍改正所ニ於テ無籍者復籍上
二月六日 三十七
- 1258 一 保ル事項直ニ府藩縣ヘ照會
五月九日 三十八
- 1259 一 從來名抱ノ家來ニ暇ヲ遣ス節入籍處分
五月廿七日 三十九
- 1260 一 脱籍者ヲ各地方官ヘ引渡ノ節東京府ニ
於テ民政部官ノ達書ヲ添ヘ引渡サシム
五月廿七日 四十
- 1261 一 東京府下非人乞食舊里ヘ引渡處分
九月十七日 四十一
- 1263 一 脱籍者心得違ナク歸國スヘキ旨軍務官
ノ達
十二月 四十二
- 1264 一 復籍者府藩縣送り旅中賄方
十月十日 四十三
- 1267 一 復籍人変取ノ節大逆無道ノ外新罪ヲ問
正月九日 四十四
- 1272 一 脱籍無宿者犯罪輕科タリニ處置濟ノ上
ハ本籍ヘ送付
四月 四十五
- 1273 一 犯罪人親乞食ニテ生所ヲ知ラサル者刑
七月九日 四十六

(マイクロ)
番号

- 1274 一 脱籍者復籍方規則
後入籍方
九月四日 四十七
- 1280 一 復籍者府藩縣送りノ節賄方
三月廿五日 四十八
- 1281 一 官華族諸官負家來或ハ食客復籍シ難
情實アル者其舊籍行狀尋開申
四月十日 四十九
- 1282 一 士族ノ脱籍ノ者家名斷絶
三月十日 五十
- 1283 一 濱田縣慶刑人名前ニ無宿者追拂トアル
ハ無籍處置方ニ及スルヲ以テ改正セシ
三月廿八日 五十一
- 1284 一 度會縣復籍蒙兎養育窮民救勵孝子節婦
賞與等ノ處令ヲ候ス
十一月 五十二
- 1287 一 諸官負官華族以下諸人ナキ者名抱ヲ禁
三月廿四日 五十三
- 1288 一 諸技藝師生徒入塾ノ節身元取組方
業地方官ノ新
四月廿四日 五十四
- 1289 一 脱籍者復籍方規則改正
四月廿三日 五十五
- 1295 一 盛岡縣士族小山田治大脱籍ニ付庶人
下レ民籍ニ編入
四月廿七日 五十七

マイクロ
コマ番号

太政類典第一編第八十巻索引

保氏

戸籍三

1304	一 仙石大學大丞ニ在官中東京住居ヲ命ス 八月五日	一
1305	一 吉井藩知事ノ辭表ヲ納レ東京在住ヲ命ス 八月五日	二
1307	一 狭山藩知事ノ辭表ヲ納レ東京在住ヲ命ス 八月五日	三
1308	一 上杉勝道ノ請ヲ聽シ東京住居ヲ命ス 八月五日	四
1309	一 山内從五位ノ請ヲ聽シ東京住居ヲ命ス 八月五日	五
1310	一 三條從一位以下京都在住ノ者ヲ東京府 八月十日 ニ貫ス	六
1311	一 細川利永ヲ東京府貫屬ト為ス 十二月十日	七
1312	一 細川行真ヲ東京府貫屬ト為ス 十二月十日	八
1313	一 松浦修ヲ東京府貫屬ト為ス 三月二日	九
1314	一 五條為榮ノ請ヲ聽シ東京府貫屬ト為ス 四月三日	十
1315	一 錦小路頼吉ノ請ヲ聽シ東京府貫屬ト為ス 七月十日	十一
1316	一 一橋田安両家中令扶等ヲ除クノ外悉ク 正月十日 地方官ノ貫屬ト為ス	十二
1317	一 清水家中令扶等ヲ除クノ外悉ク地方官 二月十日 ノ貫屬ト為ス	十三
1318	一 高知藩士族後藤從四位ヲ東京府貫屬ト 八月十日 為ス	十四
1319	一 盛岡縣士族東次郎以下ヲ東京府貫屬ト 十二月十日 為ス	十五
1320	一 廣島藩士族辻維嶽ヲ東京府貫屬ト為ス 十二月十日	十六
1321	一 平田延胤及師岡正胤ヲ東京府貫屬ト為ス 十二月十日	十七
1322	一 笠松縣士族長谷川甚兵衛ヲ東京府貫屬 正月十日 ト為ス	十八
1324	一 福井藩士族本多敏ヲ東京府貫屬ト為ス 二月十日	十九
1325	一 山口藩士族廣澤健三ヲ東京府貫屬ト為ス 二月十日	二十
1326	一 五條縣貫屬源瀬仲登ヲ東京府貫屬ト為ス 三月十日	二十一
1327	一 笠松縣貫屬大塚郷教外壹名東京府ニ貫 四月十日 屬替	二十二
1328	一 京都府士族谷森善臣東京府ニ貫屬替 五月十日	二十三
1329	一 京都府士族山科元行東京府ニ貫屬替 六月十日	二十四
1330	一 此府縣ヨリ東京府ニ貫屬替人名 七月十日	二十五
1332	一 樺太ニ移住ノ窮民東京府ニ復籍 八月十日	二十六
1334	一 京都府貫屬堀川親賀ヲ更ニ京都府貫屬 九月十日 ト為ス	二十七
1335	一 華族松木從三位叔父宗房ヲ實家ニ復籍 四月十日	二十八
1339	一 留守官管轄ノ士族平悉ク地方官ノ貫屬 正月十日 ト為ス	二十九
1340	一 東京府貫屬元使審市川晃明以下三名ヲ 二月十日 京都府貫屬ト為ス	三十
1342	一 盛岡縣士族野村揆一郎ヲ京都府貫屬ト 三月十日 為ス	三十一

(マイクロ
フィルム番号)

- 1344 一 東京府士族山本明命外六名京都府、貫^{四月十九日} 三十二
属換
- 1345 一 浅野年人外一名京都住居、願^{二年三月} 三十三
分
- 各北1347 一 姫路藩知事祖父開亭父稚樂共二靜岡藩^{五月廿日} 三十四
士酒井録四郎、終身同居、請^{三月廿日} 三十五
- 1348 一 祭主藤波從二位ニ神宮境内住居^{九月廿日} 三十五
命^{九月廿日} 三十五
- 1349 一 祭主藤波從二位神宮境内住居^{八月廿日} 三十六
命^{八月廿日} 三十六
ノ更ニ東京居住^命 三十六
- 1350 一 篠山藩士族卒管内村々ノ散居處分^{三月廿日} 三十七
七月八日
- 1351 一 鶴田藩士族卒管下郡村ノ散居居住^{九月廿日} 三十八
三月廿日
- 1352 一 靜岡藩士族靜岡ノ移住ノ處分^{三月廿日} 三十九
三月廿日
- 1356 一 靜岡藩士族朱印地社寺境内ニ住居^{三月廿日} 四十
命^{三月廿日} 四十
- 1357 一 東京府士族五島鏡之丞長峰縣下舊領地^{四年五月} 四十一
ニ住居ノ願^命 四十一
- 1361 一 山形縣下羽前國道地村ノ人民再住^{四年六月} 四十二
四月廿日
- 1362 一 元徳島藩脱籍元木一太郎御廨御用免^{二年五月} 四十三
命^{二年五月} 四十三
ラレ復籍
- 1363 一 國部藩末家小出為三郎ノ義絶ヲ解^{二年六月} 四十四
命^{六月廿五日} 四十四
籍セシム
- 1364 一 伊那縣下信州上神林村農上條源吾外貳^{二月十九日} 四十五
名ヲ大炊御門家々來ニ召托、處引戻處^{二月十九日} 四十五
分
- 1367 一 姫路藩士村上源右衛門以下復籍之者處^{三月十八日} 四十六
命^{三月十八日} 四十六
分
- 1368 一 靜岡藩、引渡箱館降伏人ノ内該地朝臣^{二年四月} 四十七
命^{二年四月} 四十七

(マイクロ
フィルム番号)

- 1370 一 人別ノ者復籍處分^{三年四月} 四十八
五島鏡之丞士族卒數十名福江藩ノ附属^{三年四月} 四十八
尋^命 四十八
- 1373 一 鳥取藩一門士族池田萬之助家名ヲ廢絶^{五月廿日} 四十九
命^{五月廿日} 四十九
- 1374 一 元八丈島流人浮田一族、者靜島ノ願^{三年九月} 四十九
命^{三年九月} 四十九
許^命 四十九
- 1375 一 浅尾藩知事末家時田鏡太郎舊家來帰裝^{十月五日} 五十
高ノ者本藩士族ニ親戚アル者其厄介^{十月五日} 五十
ルヲ許^命 五十
- 1376 一 岡山藩航海術教授トシテ東京府貫屬^{十一月廿日} 五十一
命^{十一月廿日} 五十一
田鐘次郎ヲ雇使スルヲ許シ一家、立^命 五十一
ラ許^命 五十一
- 1377 一 元柴山藩士加々凡甚五右衛門復籍處分^{十月廿日} 五十二
命^{十月廿日} 五十二
- 1378 一 元盛岡藩除籍谷地洋及復籍取扱方^{四年三月} 五十三
命^{四年三月} 五十三
- 1379 一 伯太藩復籍者處分^{四月廿日} 五十四
命^{四月廿日} 五十四
- 1380 一 元武庫司調製方奈良縣平民野口奈良藏^{四年四月} 五十五
命^{四年四月} 五十五
- 1381 一 復籍處分^{七月廿日} 五十六
命^{七月廿日} 五十六
一 龜山藩末家石川鏗勝舊家來其外入籍等^{七月廿日} 五十六
命^{七月廿日} 五十六
ノ處分
- 1383 一 福山藩復籍者編籍方ヲ候^{四年七月} 五十七
命^{四年七月} 五十七
- 1384 一 八王子同心五十七人ヲ神奈川縣ノ貫屬^{二年十月} 五十八
命^{二年十月} 五十八
ト為^命 五十八
- 1385 一 吉井藩士族卒悉ク地方官貫屬、為^{二年} 五十九
命^{二年} 五十九
- 1386 一 狭山藩士族卒悉ク地方官貫屬、為^{十二月廿日} 六十
命^{十二月廿日} 六十
- 1387 一 狭山藩士族卒ヲ堺縣ノ貫屬ト為^{二年十月} 六十一
命^{二年十月} 六十一
- 1388 一 東京府士族兒玉環岩鼻縣ノ貫屬替^{三年四月} 六十二
命^{三年四月} 六十二

マイクロ
番号

- 1390 一盛岡藩士族平ヲ同縣貫屬ト為ス 七月十日 六十三
- 1391 一足利從五位、版籍返上ヲ聴シ東京在住 七月七日 六十四
- ヲ命シ其家士日光縣貫屬ト為ス
- 1392 一山内從五位、東京在住ヲ聴シ其家士ハ 八月廿五日 六十五
- 高知藩、貫屬ト為ス
- 1393 一松浦從五位、東京在住ヲ聴シ其家士ヲ 九月三日 六十六
- 平ノ藩貫屬ト為ス
- 1394 一細川利永及行真ノ東京在住ヲ聴シ其家 六月十七 六十七
- 士ヲ熊水藩貫屬ト為ス
- 1395 一名古屋藩附屬石河太八郎以下四名及其 九月廿五日 六十八
- 家士ノ笠松縣貫屬ト為ス
- 1396 一長岡藩士族平ヲ柏崎縣貫屬ト為ス 十月廿二日 六十九
- 1397 一池田徳定及徳澄ノ東京在住ヲ聴シ其家 四月廿四日 七十
- 士ヲ鳥取藩貫屬ト為ス
- 1398 一福木藩士族平ヲ鳥取藩貫屬ト為ス 十月廿三日 七十一
- 1399 一盛岡縣士族津田又次ヲ大坂府貫屬ト為 十一月廿二日 七十二
- ス
- 1400 一山形藩士族平ヲ同縣ノ貫屬ト為ス 十月七日 七十三
- 1401 一倉敷縣士族花房助兵衛ノ足守藩貫屬ト 十二月廿日 七十四
- 為ス
- 1402 一戦功大夫士及其家士等甲府縣内ニ在ル 十二月 七十五
- 者ハ其縣ノ貫屬ト為ス
- 1403 一多度津藩士族平ヲ倉敷縣貫屬ト為ス 二月五日 七十六
- 1404 一兵庫縣交替地ニ係ル同縣貫屬池田肇以 二月 七十七
- 下百名生野縣貫屬ト為ス
- 1405 一京都府士族數十名府縣ノ貫屬替 二月 七十八

マイクロ
番号

- 1407 一伊達藤五郎及其家士ヲ北海道開拓使ノ 三月十日 七十九
- 貫屬ト為ス
- 1408 一仙臺藩士伊達藤五郎片倉小十郎元家來 五月十七日 八十
- 角田縣貫屬ノ處分
- 1409 一大津縣士族瀧川谷太郎朝日山藩ノ貫屬 四月 八十一
- 替
- 1412 一福井藩士族金森近明水保縣ノ貫屬替 四月十五日 八十三
- 1413 一龍岡藩士族平ヲ中野縣貫屬ト為ス 六月二日 八十三
- 1414 一東京府士族他府縣ノ貫屬替姓名簿 七月二日 八十四
- ヲ 1423 一諸侯以下松平姓ヲ用エルモノ各其本姓 正月廿九日 八十五
- ニ復サシム
- 1424 一諸侯等國名ヲ以テ姓氏ニ用エルモノ總 十月十日 八十六
- ヲ本姓ヲ用ヒセシム
- 1425 一同官中同苗者唱呼ノ照會 九月廿五日 八十七
- 1426 一備前少將松平氏ノ稱ヲ止メ池田氏ニ復 五月十七日 八十八
- ス
- 1427 一因幡中將及一族松平氏ノ稱ヲ止メ池田 正月廿四日 八十九
- 氏ニ復ス
- 1428 一淡路知事祖父ト同位同姓ニ付在官中官 七月廿七日 九十
- 名ヲ稱セシム
- 1429 一正親町三條實愛姓ヲ嵯峨ト改ム 十二月 九十一
- 1430 一東京府華族清水篤守清水氏ヲ稱スル願 十二月 九十二
- ヲ允ス
- 1431 一角田縣大属竹内政方武内ト改氏ス 二月 九十三
- 1432 一金刀比羅社琴琴某姓系苗字改稱ヲ請 三月 九十四

マイクロ
リール番号

- 1433 一内山藤原亮珍常盤水ト改姓ノ願ヲ允ス 四月十四日 九十五
- 1434 一京都府士族施藥院宗順三聖氏ヲ復稱セシム 六月 九十六
- 1435 一大臣ノ名從前ノ通り憚ラシム 八月五日 九十七
- 1436 一國名ヲ通稱ト為スヲ止メ并ニ兵衛衛門ハニ 月 九十八
- 等ノ類ハ改ムルヲ可トスル旨ヲ令ス
- 1438 一國名并ニ舊官名ヲ以テ通稱ニ相用候儀 十一月廿 九十九
- 被停候事 補録也 全文ハ爵位新舊官人
以下注附廢上ノ條ニ載ス
- 1440 一諸官員改名願允許取扱方 十二月 百
- 1441 一馬杉玄吾改名取扱方 元月廿四日 百一
- 1442 一小原ニ兵衛改名 九月 百二
- 1443 一大原少將ノ復名ヲ聽ス 二月 百三
- 1444 一大泉藩知事酒井忠祿酒井小濱藩知事ト 四月十四日 百四
- 1445 一同名ニ付忠實ト改名ス 四月 百五
- 一毛利從三位元徳ト改名 四月 百五
- 一民部省天社神道陰陽師ノ籍取扱方ヲ候
ス 制度番ニ載ス
- 一入吉藩出所知レサル非人編籍方ヲ候ス 四月 百五
- 一租稅地租
一載ス
- 一無籍者復籍處令 民法附錄 六月 百五

大政類典第一編第八十一卷索引

保民

衛生

- 1450 一西洋醫術採用 三月八日
- 1453 一大阪府下ノ病院建設 九月廿日
- 1454 一妊娠ノ子ヲ墮胎セシメノ又ハ藥ヲ與ヘ謝金ヲ食ルノ惡弊ヲ除カシム 九月廿日
- 1455 一東京府病院ノ御醫師出張療養行届シノノトシ尋テ之ヲ止ム 九月廿日
- 1456 一慶會府天下一般墮胎ヲ禁センコトヲ請 九月廿日
- 1458 一産婆賣藥ノ世話又墮胎ノ取扱ヲ為ス 九月廿日
- 1459 一東京府病院署撤ヲ蘭國ヨリ請求ス 二月五日
- 1462 一東京病院規則ヲ定ム 三月廿日
- 1463 一有栖川宮家來安達大進外三名流民治療 二年二月
- 1466 一ボートイン氏大村兵部大輔治療 二月廿日
- 1468 一兵庫縣病院ノ大坂府醫學校ヨリ醫師出 四月廿日
- 1470 一東洞院御池下ル所存住堂ト稱セシ場所 五月十日
- 1471 一樺太州熱病流行ニ付治療處分ヲ許ス 五月七日
- 1472 一神奈川縣下横濱港ノ病院設置處分ヲ候 三月廿日
- 1478 一川越藩管下勾當醫業ヲ落ムヲ止ム 四月廿日

- 1479 一伊東大醫毛利敬親診察トシテ山口藩 四月廿日
- 1480 一濱田縣下疫病流行ニ付治療處分ヲ申報 五月
- 1481 一白河縣ノ大學東校ノ醫員ヲ派遣ス 六月
- 1483 一山形縣種痘及治療ノ為ノ醫師ヲ招致ス 六月
- 1484 一久美濱生野兩縣大學東校ヨリ醫師一名 七月
- 1486 一勤修寺門跡家來長柄氏部外數名種痘ノ 五月廿日
- 1487 一府下ニ種痘所ヲ設ケ種痘ヲ施行ス 六月廿日
- 1490 一東京府下人民一般ニ種痘セシメント 七月
- 1491 一大學東校種痘館規則ヲ定ム 三月
- 1494 一東京府下ノ種痘施行ノ處分ヲ許ス 四月
- 1498 一府藩縣一般種痘施行 四月廿日
- 1500 一種痘新苗府藩縣ノ領布方 五月
- 1501 一若森縣下種痘流行ニ付種痘ヲ施行ス 五月
- 1502 一東京府下ニ梅毒院ヲ建設セシメテ請ノ 五月
- 1505 一水光院秘製蘇生丸賣私方ヲ開申ス 五月
- 1509 一靈源寺製藥賣私ノ為ノ諸國巡行ノ願ヲ 四月
- 1512 一賣藥取締ノ方法ヲ調查方 三月
- 1513 一賣藥取締規則 三月
- 1517 一賣藥免狀雛形ヲ定ム 三月
- 1518 一東京府下築地中通リ牧牛商社牧養屠殺 六月

マイクロ
フィルム
番号

ヲ
止
ム

第一編
八保
民

二六
一

マイクロ番号) 太政類典第一編第八十二巻索引

保民

救濟一

- 0027 一 仙臺藩ニ未穀ノ運輸方ヲ令ス 四月五日
- 0028 一 大総督府金十五萬兩ヲ田安慶頼ニ下付 九月廿一日
- 一 徳川氏ノ家族臣隸ヲ賑救ス
- 0029 一 兵火ニ罹リ賦役ノ疲ル者ノ安撫救恤 六月廿日
- 一 諸道府縣窮民賑救ノ方法ヲ定ム 合
- 0030 一 水災埋害ニヨリ府縣ニ令シ鎮津買占等 七月廿日
- 一 所業ヲ禁シ未穀ノ流通ヲ便ナラシム
- 0032 一 鯨水藩外五藩ヨリ賑恤備米買上 九月十日
- 一 兵火彈丸ノ為ノ負傷セシ者姓名其外調 十月二日
- 0037 一 兵火水災ニ罹ル村々難海ノ者名前等調 九月廿日
- 一 東京府下上野兵火ニ罹ル者調査 九月廿日
- 0038 一 夫食糧穀農具等救助并借以後無利息ヲ 七月廿日
- 0039 一 夫食糧穀類焼農具代等貸下方 二月五日
- 0040 一 舊幕府中夫食糧穀農具代等借渡未納ノ 七月廿日
- 0041 一 令棄指及爾後并借返納方ヲ定ム 六月廿日
- 0042 一 救荒夫食糧穀管正米貸下ヲ止メ貸渡返 六月廿日
- 一 納トモ石代ヲ用シム
- 0043 一 濱兩農ヲ害スルニ依リ供御ヲ減シ救恤 八月廿日
- 一 充ララル、詔并諸官負官禄ノ内ヲ以

マイクロ番号)

ラ救恤ニ充ツ

- 0045 一 東京都西府窮民救助未交付 八月廿日
- 0047 一 水災ニ罹ル者日數十五日ヲ限り給與 十二月廿日
- 一 未納ヲ定ム
- 0048 一 火災ニ罹ル者救恤處分方 五月廿日
- 0049 一 農民野蓄ノ穀物ヲ窮民ニ貸付及返辨方 六月十日
- 一 取調届出ナシム
- 0050 一 棄児養育未給與方 九月廿日
- 0055 一 棄児養育當歳ヨリ十五歳マテ年々米七斗ヲ給與 六月廿日
- 0059 一 雙子三子出産ノ者手當給與方 九月十五日
- 0061 一 府下三田壘丁目ニ教育所ヲ設ケ窮民ヲ 五月三日
- 一 撫育ス
- 0062 一 高輪教育所人負 十月十日
- 0063 一 麴町合上 十月廿日
- 0064 一 三田合上 十月廿日
- 0065 一 東京府下窮民景況 十一月
- 0066 一 三田教育所規則 十二月
- 0068 一 東京府下窮民處分附引取願書與書案 十二月
- 0069 一 築地其外ノ協救社養豚場ヲ設ケ窮民ヲ 十二月廿日
- 一 シテ産ニ就カシム
- 0070 一 延曆寺ノ僧侶書ヲ大津裁判所ニ上リ食 五月二日
- 一 病ニ既ヲ建設ヒシコトヲ請フ是日又之ヲ朝ニ請フ
- 0075 一 伊那縣救院ヲ設置セン事ヲ請フ 二月十日
- 0076 一 久美濱縣權知事大参事窮民救助ノ為献 八月

マイクロフィルム番号

0077	小菅縣救恩社法附録ヲ定メ施行セシム	三十三
0083	小菅縣下救恩社中浦和縣ハ管轄替ノ令全 ハ談社ヲ除キ浦和縣ノ處置ニ任ス	三十四
0087	角田縣備荒儲蓄米ノ處分	三十五
0088	堺縣窮民救助ノ為メ縣官々採取越給典 ノ處分	三十六
0092	中村藩興國安民法舊ニ仍リ執行	三十七
0129	久留島通請ノ家臣窮民救恤ノ事ヲ稟ス 批シテ之ヲ長崎裁判所ニ請ハシム	三十八
0131	桑名藩家來困窮ノ者名古屋津西藩ニ於 テ救助セシム	三十九
0137	桑名藩家來困窮ノ者ハ壹万俵下賜	四十
0138	濱田藩困窮ノ者備前因州西藩ニ於テ救 助セシム	四十一
0140	生駒大内藏領民兵火ニ罹ル者ハ金千兩 下賜	四十二
0141	水野和泉守封地ノ窮困ヲ救ハンコトヲ請 フ	四十三
0144	水野忠私再々書ヲ上リテ窮困ノ情狀ヲ 陳シ賑濟ヲ請フ是日米二千石ヲ賜フ	四十四
0146	宇都宮藩ハ賑恤金下賜	四十五
0150	六柳政鑑戸澤正實生駒親敬等ノ臣民ヲ 賑恤ス	四十六
0152	新庄藩城下兵變ニ罹ルニ付壹万兩下賜	四十七

マイクロフィルム番号

0153	新庄藩ハ窮民救助金ヲ貸與ス	四十八
0158	井上河内守外三藩舊領徳川新三位新領 地水損窮民救助處分	四十九
0159	松前藩居城陥落疲弊ニ付三萬俵拜借	五十
0160	鶴田藩困窮ニ付岡山藩外三藩ニ於テ扶 助セシム尋テ之ヲ止ム	五十一
0163	岡山藩末家池田大隅水藩ニ於テ扶助セ シム	五十二
0164	奥州ノ諸藩縣救助ノ處分	五十三
0167	棚倉外三藩ハ窮民救助金ヲ貸與ス	五十四
0169	長崎藩救助處分	五十五
0178	七戸藩窮民救助金拜借	五十六
0182	七戸藩救助拜借米返納延期處分	五十七
0186	斗南藩窮民岡山藩ニテ救助處分	五十八
0187	牛久藩管下窮民救助拜孝子等賞與	五十九
0200	彦根藩管下村々先ニ拜借ノ種叔上納延 期	六十
0201	松川藩管下貧民ハ夫喰貸付	六十一

一 近畿府縣水災ニ罹ル者ヲ賑救ス 租稅中
免租ノ部ニ載ス 五月廿三日

一 關東府縣夫食種叔農具等救助拜借ヲ止
ム以後被下切ノ種ヲ以テ伺出シム 租稅
概收一ニ載ス 十二月廿四日

一 凶年饑歲ノ慮ヲ為シ民忠賑濟ノ備ヲ設ケ
シム 附窮民賑恤方府縣奉職規則ニ載ス 七月

(マイクロフィルム番号)

大政類典第一編第八十三卷索引

保民

救濟ニ

0209	一金澤藩ヨリハ大島淳田家へ例ニ依リ助 成米ヲ輸送ス 元月十九日	一
0210	一相武ノ内三郡上納金半高ヲ免シ残高ヲ 窮民救助ノ為ニ下賜ス 十一月	二
0211	一十津川御救濟ノ為ニ曾テ下賜スル現米 ノ内ヲ以テ之ヲ交付ス 九月五日	三
0212	一隱岐國凶荒ニ付救助金ヲ貸與ス 十二月十四日	四
0215	一蘆山縣下窮民ノ救助金ヲ貸與ス 二月	五
0217	一葛飾縣管下貸付金アル村々諸藩へ管轄 換ノ分返納處分ヲ候ス 四月	六
0218	一日光縣下塩谷郡村々救恤處分 五月	七
0221	一日光縣下窮民武兵衛等三戸ノ救恤金給 與 六月	八
0223	一日光縣下窮民小野清吉等三戸ノ救助金 ヲ給與ス 七月	九
0225	一甲府縣士族官川富次郎母君以救助處分 六月	十
0227	一伊那縣窮民久左衛門外七戸救恤處分 五月	十一
0229	一伊那縣下窮民總次郎後家以凶等救恤處 分 六月	十二
0234	一伊那縣下農藤次郎救恤金給與 六月	十三
0236	一高山縣下能州村々起返夫食未代金貸下 テ乞フ仍テ村高人員等調査爾後貸未發 止ノ目途ヲ立テ更ニ具申セシム 七月	十四

(マイクロフィルム番号)

大津縣下江州村々ノ貸下米五ヶ年賦ノ
内已巳年分返納

0239	大津縣下江州村々ノ貸下米五ヶ年賦ノ 内已巳年分返納 四月	十五
0241	一 大津縣下窮民夫食并借未返納延期 五月	十六
0243	一 大津縣下窮民ノ救助金貸與 五月	十七
0246	一 濱田縣下窮民救恤處分 四月	十八
0248	一 濱田縣ノ窮民授産金ヲ貸與ス 四月	十九
0251	一 生野縣管下作州十二ヶ村田畑不登軒別 救助金ヲ貸與ス 七月	二十
0254	一 倉敷縣支配地凶歉窮民救恤トシテ租稅 置金ヲ貸與ス 十二月	二十一
0261	一 倉敷縣下窮民救助處分 二月	二十二
0294	一 倉敷縣下故一橋上村外一ヶ所普請手當 并水難貸下金處分 五月	二十三
0295	一 白河縣下村々救助高引戻處分 二月九日	二十四
0296	一 福島縣下窮民ノ貸下ノ夫食返納方 十二月	二十五
0297	一 福島縣下窮民ノ貸下ノ夫食種籾返納方 十一月	二十六
0298	一 福島縣下窮民ノ貸下ノ夫食種籾上納延 期 三月	二十七
0299	一 福島縣下窮民ノ貸下ノ夫食年賦上納ヲ 許ス 三月十日	二十八
0300	一 福島縣下窮民救助ノ為貢米地拂ヲ許ス 四月	二十九
0302	一 福島縣下磐城國伊達信夫西郡ノ并借未 テ乞フ實地調査人員村高確定更ニ伺出 シム 三月	三十
0304	一 若松縣貸下返納未賣却石代ヲ以上納ヲ 准許ス 十一月	三十一

(マイクロ
リール番号)

0305	一若松縣管下新發田藩、管轄替ノ村々貸十三 付未藩ニテ徴收納付セシム	三十二
0306	一若松縣已年違作諸拜借金一旦上納更ニ 貸與納渡トモ證書ヲ以テ處分セシム	三十三
0309	一江刺縣下元盛岡縣家來等歸農ノ内極窮 ノ者救助處分	三十四
0319	一江刺縣下百姓故長作娘二人救助	三十五
0322	一江刺縣下村々窮民ノ夫食種租貸付	三十六
0324	一江刺縣下山荒等ニ依リ困窮ノ者ノ夫食 米ヲ貸付ス	三十七
0329	一江刺縣下救助援産資金之處分	三十八
0337	一江刺縣下救助貸下金返納處分	三十九
0342	一若森縣下村々山荒ニ付種租代ヲ貸與ス	四十
0345	一膽澤縣ノ救恤米ヲ貸與ス	四十一
0349	一膽澤縣下窮民ノ米穀ヲ貸與ス	四十二
0352	一膽澤縣下窮民救助ノ為ノ拂米ヲ為ス	四十三
0356	一膽澤縣下拜借米返納ノ見込等ヲ開申セ ル	四十四
0357	一膽澤縣下窮民ノ貸下米年賦返納	四十五
0359	一膽澤縣下貧民ノ貸下米返納處分	四十六
0362	一膽澤縣下窮民ノ種租貸與	四十七
0364	一登米縣下救助夫食米殘納金ノ處分	四十八
0366	一山形縣下窮民ニ手職ヲ援ケ救助ノ處分 ヲ為ス	四十九
0367	一柏崎縣下窮民ノ救助金貸與	五十
0369	一新潟縣管下蒲原郡水成寺村夫食拜借金	五十一

(マイクロ
リール番号)

0371	一返納延期 一新潟縣管下蒲原郡大江村開作夫食金ヲ 貸與ス	五十二
0374	一新潟縣下窮民ノ救助金ヲ貸與ス	五十三
0380	一新潟縣下窮民ノ救助金貸與	五十四
0384	一新潟縣下窮民ノ救助金貸與	五十五

マイクログ
リール番号

太政類典第一編第八十四卷索引

保民

救済三

- 0390 水害 大垣藩御預所濃州村々水災救助處分 元年五月
- 0395 一 武州下戸田村水災毛藏指火災ニ罹ル者 九年十月廿日
- 賜金^{水害}社行
- 0396 一 小菅縣下水害村々救助處分 二年正月
- 0399 一 京都府水災村々小屋掛貸與 四年正月
- 0408 一 日光縣下水害村々種叔代貸與共ニ 四年正月
- 0412 一 官谷縣下水害村々種叔夫食小屋掛料貸與共ニ 三年正月
- 0427 一 浦和縣下水害村々夫食種叔貸與共ニ 四年正月
- 0435 一 蕪山縣下水害村々夫食貸與救助未救與 五月
- 0439 一 葛飾縣下水害村々種叔代貸與 五月
- 0442 一 伊奈縣下水害村々小屋掛料貸與 五月
- 0444 一 兵庫縣下水害村々種叔代貸與救助處分共ニ 三年
- 0449 一 度會縣下水害村々夫食并救助金貸與共ニ 五月廿三日
- 0453 火災 湯水村箱根宿權現社領ノ兵火焼失ニ付 九年
- 救未下賜 之^通 九年
- 0454 一 水多美濃守城下焼失ニ付金圖下賜 九年
- 0455 一 日光縣下水災ニ罹ル者救助共ニ 十一月
- 0469 一 蕪山縣下水災ニ罹ル者救助毛農具代小 十二月

マイクログ
リール番号

屋掛料等貸與共ニ

- 0479 一 甲府縣下水災ニ罹ル者農具代家作料貸與共ニ 四年
- 0482 一 度會縣下水災ニ罹ル者農具小屋掛料貸與 五月
- 0484 一 兵庫縣下水災ニ罹ル者救助共ニ 正月
- 0487 一 若松縣下水災ニ罹ル者ノ家作料貸與共ニ 四月
- 0492 一 盛岡縣下水災ニ罹ル者救助 五月
- 0494 一 山形縣下水災ニ罹ル者夫食未農具代貸與并救助共ニ 五月
- 0500 一 登米縣下水災ニ罹ル者救助 四月
- 0503 一 白川縣下水災ニ罹ル者農具代貸與 七月
- 0505 風災 中野縣下水災村々救助 五月
- 0506 一 度會縣下水災村々救助 十二月
- 0508 一 小菅縣下水災村々救助 四月
- 0510 一 蕪山縣下水災村々小屋掛料貸與 二月
- 0522 一 五條縣下水災村々救助 三月
- 0524 一 大津縣下水災村々救助金貸與 五月
- 0527 一 若松縣下降雪ノ為居家潰損ノ者救助 十月
- 0528 一 柏崎縣下山崩毛火災ニ罹ル者救助 七月
- 0530 一 柏崎縣復籍士民困窮ノ者救恤方 五月

マイクロ
フィルム番号

大政類典第一編第八十五卷索引

保民

警察

- 0540 一 京都市民、賊徒ノ兵器等ヲ藏置スル者元月廿四年 一
- 一 悉ク市中取締所ニ納付セシム
- 0541 一 長崎會議所徳川慶喜以下ノ罪状ヲ管下元月廿四年 二
- 一 布告シ其徒ヲ潛匿スルヲ禁ス
- 0542 一 芝居見世物類ニ帶刀人ノ無錢入場等ノ元月廿四年 三
- 取締ヲ為サシム
- 0543 一 官堂上諸候以下、徒僕等諸道通行ノ節元月廿四年 四
- 威權ヲ振ヒ賄賂ヲ貪ル等ノ宿弊ヲ嚴督
- 0544 一 官家中間又官軍杯ト唱ヘ町家又往來人元月廿四年 五
- 不法ヲ加フル者ハ容捨ナク捕縛セシム
- 0545 一 官家又ハ官軍等ト唱ヒ市民ニ對シ不法元月廿四年 六
- ヲ加フル者ノ取締ヲ為サシム
- 0546 一 親王公卿等ノ家士旅行中威權ヲ以テ妄元月廿四年 七
- ニ無錢宿泊又ハ人馬使用等ノ惡弊ヲ取締ラシム
- 0547 一 聖靈棚之道具ヲ塚中ニ捨ルヲ禁シ燈火元月廿四年 八
- 之取扱不注意ナカラシム
- 0548 一 関東地方賊徒官軍ト偽稱シ暴行ノ者取元月廿三年 九
- 締、為ノ勘合印鑑ヲ下付ス
- 0550 一 水領安堵ト偽リ旧來地ヨリ金穀ヲ掠取元月廿三年 十
- スル者ノ取締ヲ為サシム

マイクロ
フィルム番号

- 0551 一 東京府ヲシテ軍務官ト忤議府下ノ取締元月廿四年 十一
- 方ノ一層嚴ニセシム
- 0552 一 関東地方強盜博徒等取締方元月廿四年 十二
- 0553 一 東京府廳ハ出願者他向ハ内願スルヲ禁元月廿四年 十三
- ス
- 0554 一 東京府下香具師取締方元月廿三年 十四
- 0555 一 角力芝居等觀覽場ニ無錢入場營業ヲ妨元月廿三年 十五
- クル者ノ取締ヲ為サシム
- 0556 一 角力芝居其他見世物場ハ無錢ニテ入込元月廿三年 十六
- シ又ハ場中ヲ妨ル者ハ直ニ捕縛セシム
- 0557 一 関東諸縣兇徒取締方各支配所限リ便宜元月廿一年 十七
- 施行セシム
- 0558 一 官堂上府藩縣及社寺ノ家士從僕ノ高店元月廿一年 十八
- ニ於テ強買等ヲ為ス者ノ取締ヲ為サシム
- 0559 一 東京府下賄賂私謁等ヲ為ルモノノ取締元月廿一年 十九
- ヲ為サシム
- 0560 一 官堂上諸藩及社寺ノ家士兵卒等商賈ノ元月廿一年 二十
- 家ニ入り猥褻ノ所業アル者ヲ嚴督ス
- 0562 一 官堂上諸候等ノ家士ノ粗暴ハ其主人ノ元月廿一年 二十一
- 責任ニ帰ス
- 0563 一 府下ニ於テ無賴ノ輩彈正臺役人ト偽リ元月廿一年 二十二
- 不法ノ惡業ヲナスモノノ取締方
- 0564 一 大坂府下惡徒潛匿ノ取締、為ノ官華族元月廿一年 二十三
- 等ノ家士宿泊滯留スルモノハ其主人ヨリ必ズ留守官ニ届出シム

マイクロ第一編 八保 民

0566	一 検使見分トシテ出役ノ者・辨留等、出十月五日 一 スヲ禁ス 二 十月五日	二十
0567	一 下妻藩管下芝居興行 二 府下市在ノ内遊人ヲロツト唱フ者取十一月 一 府下ニ於テ諸家中間又ハ抱薦人足杯ト十一月 一 唱銭サシ押賣ヲナス者取締方 二 十一月	二十五 二十六
0569	一 府下ニ於テ諸家中間又ハ抱薦人足杯ト十一月 一 唱銭サシ押賣ヲナス者取締方 二 十一月	二十七
0570	一 東京府外ニ縣下馬車取締 二 五月八日	二十八
0571	一 京都府下社寺開張其他觀場等無銭立入 一 及亂暴ヲ禁ス 二 五月八日	二十九
0572	一 諸官眞官華族等ノ家士下坂スル者ニ京 一 都府ノ印鑑ヲ提携セシム 二 五月八日	三十
0573	一 彈正臺若クハ諸官省ノ名ヲ偽リ無根ノ 二 五月七日	三十一
0574	一 説ヲ流布スル者ノ取締ヲ為サシム 二 三月十日	三十二
0577	一 三府共開港場取締心得ヲ定ム 一 關東傍近藩縣管内徒黨強訴等ヲ企図ス 二 三月十日	三十三
0578	一 府藩縣兵官華族邸宅其他管内ノ取締ニ 二 三月十日	三十四
0579	一 一層注意セシム 一 秋田藩管内無頼ノ徒花往來ノ者取締方 二 三月十日	三十五
0580	一 豐津藩士横濱行ノ節識察處令 二 六月	三十六
0581	一 府縣ニ令シ賈貨ヲ偽造スル者ヲ究尋シ 一 其端緒ヲ得ル者ハ之ヲ刑法官ニ報セシ 二 八月十日	三十七
0582	一 賈金ヲ私造シ及其價位ヲ設ケテ流通ス 一 等ノ者ヲ按シ速ニ之ヲ訴ヘシム 二 五月廿八日	三十八

0583	一 森商ノ賈貨ヲ權買シテ外人ニ轉賣スル 一 者ヲ縛獲シ兵庫新瀉ニ縣ニ通牒シテ尚 一 之ヲ提理セシム 二 五月十日	三十九
0584	一 外櫻田以下諸御門内履面花頭巾等ヲ禁 二 五月十日	四十
0585	一 外國人ニ對シ輕率粗暴ノ取締ヲ為サシ 二 八月廿五日	四十一
0587	一 外人交渉事件ニ依リ兵眞ヲ出シ東京府 一 及品川縣ニ一層其取締向テ嚴ニセシム 二 四月五日	四十二
0588	一 埋藏物ヲ掘得ル者分配分具節ニ申請セ 一 シム 二 二月七日	四十三
0589	一 菊間藩農官原勇吉土中ヨリ古銭ヲ掘得 一 ルニ付本人ハ下付ス 二 五月七日	四十四
0592	一 高遠藩管内農増澤嘉衛發土中ヨリ鑲金 一 ヲ掘得ルニ付本人ハ下付セシム 二 七月十二日	四十五
0593	一 舊幕府保科正益戸田氏良ヲシテ品川驛 一 關門ヲ守ラシム又關門ヲ江戸諸口ニ置 一 キ出入ヲ檢シテ印票ヲ付シ各地ノ關守 一 ニ令シテ印票ナキ者ノ經過ヲ禁ス 二 慶應三年三月廿九日	四十六
0595	一 井伊直憲ノ家臣柳瀬關門廢置ノ事ヲ稟 一 請ス 二 二月九日	四十七
0596	一 諸國街道ニ於テ關門又ハ番所等ヲ私設 一 スルヲ禁ス 二 五月十日	四十八
0598	一 小佛關門無印鑑ノ者ト並比正確ノ證書 一 等アル者ハ通行ヲ許ス 二 八月	四十九
0599	一 上野國三國嶺ニ新ニ關門ヲ設ケ其守衛 一 令 二 五月	五十

マイクロ第二編 二六八

(マイクロ)
番号

- 0600 高崎藩ニ命ス
唐津藩警備箱根関門ヲ小田原藩ニ属シ 十月廿日 五十一
- 0601 軍監安永又吉ノ監督ヲ罷ム
- 0602 信州福島関門警備ヲ更ニ尾張藩ニ命ス 十一月廿日 五十二
- 0603 奥羽鎮定ニ付沓掛關門廢撤ヲ許ス 十二月 五十三
- 0604 京都諸出口通行ノ停止ヲ解ク 正月廿日 五十四
- 0607 箱根以下諸關門ヲ廢ス 正月廿日 五十五
- 0608 弘前藩降伏人御預中番所守衛ヲ存置ス 二月 五十六
- 0609 日田縣下番所廢置ニ處分ヲ候ス 三月 五十七
- 0612 甲府縣旧ニ依リ口留番所ヲ置シテ請フ 四月 五十八
- 0613 甲府縣旧ニ依リ口留番所ヲ置シテ請フ 四月 五十八
- 0612 西域消防方ヲ筑前及高松ニ藩兵ニ命ス 十月三日 五十九
- 0613 高松藩兵隊皇城消防方命セラレシ年月 六月廿五日 六十
- 0615 兵費費用等調査
- 0616 諸藩邸中火之見櫓ニ於テ板木ヲ用ユル 十月廿日 六十一
- 0617 郭内失火ノ節消防ノ照會
ハ之ヲ許ス 二月 六十二
- 0618 一 郭内失火ノ節消防ノ照會
京府ニ属ス 二月 六十三
- 0619 一 非帯合圖ノ為メ城櫓ニ鐘ヲ設ク
御所近火ノ節ハ太鼓鐘ヲ交ヘテ之ヲ擣ス 正月廿日 六十四
- 0620 一 東京府消防官官費ノ手當支給方
一 東京府下一般ノ消防仕法ヲ定シテ請フ 三月 六十五
- 0622 一 東京府下一般ノ消防仕法ヲ定シテ請フ 三月 六十六

(マイクロ)
番号

- 0623 一 皇居四方一里以内ノ失火報知順序ヲ定ム 三月廿八日 六十八
- 0624 一 大學南校消防ノ豫備ヲ定ム 十二月 六十九
- 0625 一 非常ノ節消防方兵人足等ハ徽章ヲ以テ城門ヲ通行ス 七月 七十
- 0626 一 青山厄京大夫外ニ名ニ京都消防ヲ命ス 慶應三年 七十一
- 0627 一 永井飛騨守ニ京都火役ヲ命ス 慶應三年 七十二
- 0628 一 永井直諫ニ京都火役ヲ命ス 全 七十三
- 0629 一 永井直諫ニ火元見役ヲ命ス 慶應三年 七十四
- 0630 一 京都市中取締三藩防火事旧町奉行ノ例ニ因リ專ラ巡視ヲ主トセンコトヲ稟請ス 三月廿三日 七十五
- 0631 一 永井直諫ノ家臣本日以後消防ノ役ニ服ス 慶應三年 七十六
- 0633 スルヲ稟シ且ツ其條款ヲ申請ス 元 七十七
- 0638 一 柳澤甲斐守以下諸藩ニ消防後ヲ命ス 三月廿六日 七十八
- 0639 一 京都府下小學校ニ火ノ見ヲ建設ス 五月廿日 七十九
- 0644 一 京都府士族中井原三郎ニ消防後委任ノ慶分 五月廿日 七十九
- 0644 一 京都御所其外非常駐村人足ノ慶分 六月 八十
- 0648 一 京都府下千本大見櫓建設 八月 八十一
- 0649 一 京都府内ニ望火櫓鐘樓ヲ建設ス 閏十月廿日 八十二
- 0650 一 京都府下火防費賦課ノ慶分 閏十月 八十三
- 0652 一 京都府下失火ノ節火元見注進方ヲ定ム 全 八十四
- 0655 一 宮内留守両官合併非常失火等其両官ニ授議慶分セシム 三月廿日 八十五
- 0656 一 九門閉鎖時限ヲ定メ印鑑ヲ以テ往來セ 正月廿日 八十六

0657	シム 一 猿ヶ辻庇御門堂上通行、節ハ前以テ届 出	元 七 月 年	八十七
0658	一 諸御門兵諸開門警衛ノ規則ヲ定ム	元 九 月 五 日 年	八十八
0659	一 士氏ノ九門内通行等ヲ止ム	元 十 二 月 十 日 年	八十九
0660	一 樽御門親王輔相ノ外夜中開門スルヲ禁 ス	元 四 月 五 日 年	九十
0661	一 濱殿大手門下馬及開閉等ノ規則	元 五 月 年	九十一
0664	一 東京開市場開門之規則ヲ候ヌ	元 九 月 十 日 年	九十二
0665	一 諸門警衛規則ヲ定ム	元 七 月 年	九十三
0667	一 親王及諸長官諸門通行ノ際下座及夜中 西扉ヲ開カシム	元 八 月 十 五 日 年	九十四
0669	一 粟田口番所通行ノ規則	元 十 一 月 年	九十五
0671	一 諸御門警衛規律ヲ定ム	元 三 月 五 日 年	九十六
0674	一 外國入城門通行ノ規則	元 十 一 月 年	九十七
0675	一 諸門警衛兵規律ヲ増補ス	元 四 月 十 日 年	九十八
0676	一 御城内諸門警衛兵規律ヲ定ム	元 四 月 十 八 日 年	九十九
0679	一 諸御門警衛兵規律第一則ヲ改正ス	元 七 月 廿 七 日 年	百

マイクロ
フィルム
番号

大政類典第一編第八十六卷索引

保氏

警察ニ

補七0686 一市中見廻六藩ヨリ乱妨ノ者其他ノ取扱慶應二年十二月二十日

方ヲ候ス

0687 一暗殺ヲ行フ者處分方元治四年正月廿四日

0689 一賊徒狼藉等防禦、為ノ京都市中水戸藩元治四年五月廿七日

0690 一頃日颯徒京師ニ潛匿スルノ聞アリ因リ元治四年四月廿五日

0691 一市中ニ於テ乱妨ノ者ハ士ト雖モ裁判所元治四年五月

0692 一盜賊其外惡業ノ者近隣最寄ノ者打寄捕元治四年六月

0693 一東京府下盜多キヲ以テ東京府ニ令シ軍元治四年十月廿七日

0694 一德川旗下及諸藩逃走ノ者處分方元治四年九月廿四日

0695 一田安藩強盜取締ノ為ノ屋敷廻リ巡邏ス元治四年十一月廿五日

0696 一脱走浮浪ノ者取締ノ為ノ奥羽北越ヨリ元治四年十一月

0697 一市中取締兵隊巡邏先ニテ拒捕ノ者ヲ討元治四年十月廿二日

0698 一東京府ニ於テ兵隊召捕ノ節ハ其罪状相元治四年十月廿五日

一添軍警官ニ引渡サシム元治四年十一月十二

マイクロ
フィルム
番号

0699 一東京府下盜賊切害暗殺等取締方元治二年五月廿二日

0700 一神奈川港内海賊吟味取締方元治二年五月

0701 一宿驛人夫ノ暴行ヲ提理ス元治二年五月

0702 一軍警官兵隊犯罪者ヲ軍装ノ儘繩縛スル元治二年五月十六日

0704 一京新府下夜盜夥多ニ付知府事始微行巡元治二年六月十日

0705 一奸曲無賴ノ徒所々徘徊良民ノ害ヲナス元治二年七月五日

0707 一甲府鎮撫使柳原前光濱松藩ニ府下ノ取元治二年七月十日

0711 一東京府下盜賊取締方一際嚴重ニセシム元治二年十月十七日

0714 一府下市中盜賊追刺等取締方元治二年十月十日

0715 一海賊取締ノ處分元治二年六月

0719 一貨幣偽造ノ者處分方元治二年十一月廿五日

0720 一各地方賊難表ヲ進達セシム元治二年十二月

0721 一三府下士族卒等疑ハシキ者其事情ニヨ元治二年五月廿八日

0722 一諸縣捕亡吏設置ノ準則ヲ定ム元治二年四月

0724 一丹前藩管下ニ於テ盜賊等捕縛方元治二年六月

0725 一廣嶋藩元應變隊伍長加藤傳一郎捕縛處元治二年三月

0728 一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

一伊達陸奥守家來江州陣屋ニアル者斬威元治二年六月七日

マイクロ
フィルム
番号

- 0729 一 之々廢置ヲ為サシム 八月廿四年 三十
- 0730 一 備前藩末家池田大隅脱走ニ付搜索 八月廿四年 三十一
- 0731 一 七番隊徴兵堀右京暴行ニ付捕獲ス 八月廿四年 三十一
- 0732 一 日光縣下博徒及強賊追捕 八月廿四年 三十二
- 0737 一 長崎府下武藤左近、逮捕シ該府、付ス 八月廿四年 三十三
- 0739 一 伏見隊中平松豊次郎遁亡ニ付搜索 八月廿四年 三十四
- 0740 一 陸前國浦谷村百姓甚九郎養母ヲ傷ケ逃 八月廿四年 三十五
- 0741 一 竊賊、忍入全園竊取、賊、捕獲ス 八月廿四年 三十六
- 0744 一 米澤藩士増岡審吉東京、送致 八月廿四年 三十七
- 0745 一 官田大學大馬字生輝臺丸間中逃亡尋テ 八月廿四年 三十八
- 0748 一 自首ス 八月廿四年 三十九
- 0750 一 蘆山縣下農安之介母殺害逃走ニ付捕亡 八月廿四年 三十九
- 0751 一 大前若森縣權大屬厄介山口辰二郎逃亡 八月廿四年 四十
- 0752 一 柴田兵部史生狼籍者、傷ケ 八月廿四年 四十一
- 0753 一 二權命婿家来近藤沖金園携帶逃亡 八月廿四年 四十二
- 0755 一 大泉藩清川八郎亡命ニ付搜索 八月廿四年 四十三
- 0756 一 廣澤參議傷害、賊搜索方 八月廿四年 四十四
- 0758 一 廣澤參議遭難事件、聞シ太政官々員ノ 八月廿四年 四十五
- 0765 一 家令等、住所ヲ調査ス 八月廿四年 四十六
- 0766 一 飯野藩御預松平容保元家来大久保與一 八月廿四年 四十七
- 0765 一 即脱走ニ付搜索方 八月廿四年 四十七
- 0765 一 軍監使役神谷傳八捕獲、陰逃走ニ付脱 八月廿四年 四十七
- 0765 一 殺 八月廿四年 四十七
- 0765 一 宍戸刑部少輔郎。於テ竊盜捕縛 八月廿四年 四十八
- 0766 一 江刺縣權大屬木村新八殺害、賊搜索方 八月廿五年 四十九

マイクロ
フィルム
番号

- 0767 一 濱田縣下茶釜共訴訟、未逃亡 八月廿四年 五十
- 0768 一 若松縣徒刑係中村省吾殺害、賊、捕獲 八月廿四年 五十一
- 0770 一 牛久藩管内ニ於テ盜賊逮捕、降毆殺ス 八月廿四年 五十二
- 0771 一 切戸町木挽山田屋源七外國人ヲ傷ケ逃 八月廿四年 五十三
- 0772 一 亡ニ付搜索方 八月廿四年 五十四
- 0780 一 東京浅草出生清吉英商ホ、イ殺害逃亡 八月廿四年 五十四
- 0780 一 付搜索方 八月廿四年 五十五
- 0784 一 南校雇英人クラス外一名ヲ傷ケシ者搜 八月廿四年 五十五
- 0784 一 新潟縣雇英人キンク傷ケ逃亡ノ者搜索 八月廿四年 五十六
- 0796 一 信州ノ賊徒各藩ノ兵威ヲ以テ鎮撫セシ 八月廿五年 五十七
- 0798 一 信州地方毒民巨魁、者取調處置セシム 八月廿五年 五十八
- 0799 一 信州路土民動搖、付北代底琴正差遣 八月廿五年 五十九
- 0800 一 澤兵部權少亞巡察使トシテ信州、出張 八月廿五年 六十
- 0802 一 并臨機處置藩兵退避恣任 八月廿五年 六十一
- 0808 一 伊那縣下人民暴動始末 八月廿五年 六十二
- 0818 一 福島縣下人民暴動始末 八月廿五年 六十三
- 0818 一 山口藩隊卒騷擾 八月廿七年 六十三

（マイクログ）
（マイクログ）

太政類典第一編第八十七卷索引

保民

警察三

0844	暴動 非常不虞ノ外平常府縣ニ於テ兵員ヲ指テ十月十日 揮スルヲ禁ス	九月十日	一
0845	一大閩増勤其封境暴徒横行ノ状ヲ申シ朝 命ヲ得テ之ヲ鎮輯セント請フ批シテ東 山道總督ニ具申セシム	九月十日	二
0847	兵部省農民暴動ノ節處分方ヲ答議ス	七月十日	三
0848	水戸藩制度改革ニ付動搖ノ節ハ千戈ヲ 以鎮壓センコトヲ請フ士民不服ノ者アリ ハ其機ニ臨伺出サシム	七月十日	四
0849	諸藩近傍ニ於テ非常異變アル節ハ彈正 臺ハ届出シム	九月	五
0850	元松山領備中國下道郡久代村農民騷擾	三月	六
0851	攝州豐嶋郡北條村暴徒鎮壓ヲ山口藩及 櫻井遠江守ニ命ス	四月廿四日	七
0852	南部彦太郎舊領鎮撫方ヲ其地權知縣事 ニ任シ盡カセシム	二月十日	八
0853	大津縣下人民東幸ノ儀ニ付集合	三月	九
0854	遠藤鎮之助知行所百姓騷擾ニ付野上藩 人數出張	七月廿五日	十
0855	美濃國妻木ク、リ村農民騷擾ニ付西大 平藩兵隊ヲ派遣ス	七月廿五日	十一
0856	笠松縣下人民暴動	八月五日	十二
0859	武州上州邊凶徒暴行	八月	十三

（マイクログ）
（マイクログ）

0860	延岡藩管下人民暴動	九月七日	十四
0861	清崎藩内騷擾	十月三日	十五
0862	菰野藩管下人民騷擾	十月五日	十六
0863	白石縣下人民暴動	十月	十七
0864	一田安從二位支配地甲州地方人民動搖之 ヲ鎮撫シ甲府縣ニ命ス	十月三日	十八
0865	岩鼻縣管内人民動搖同縣ニ命シ高崎藩 ヲ協議鎮撫ニ盡カセシム	十月廿五日	十九
0866	名古屋藩管下人民暴動	三月七日	二十
0867	鳥山藩管下村々人民騷擾	六月九日	二十一
0875	福井藩管内水多興之輔元家來ノ者騷擾	八月廿日	二十二
0876	一舉母藩沸騰	八月	二十三
0877	一彦根藩管下人民騷擾	三月	二十四
0879	一七戶藩管下農民動搖	十一月廿日	二十五
0880	一津藩士族騷擾	十二月廿日	二十六
0881	一若松縣下人民動搖	十二月	二十七
0882	一宇和島藩管下人民暴動	十二月廿日	二十八
0884	一吉田藩管下人民騷擾	四月八日	二十九
0885	一府内藩管下人民暴動	四月	三十
0890	一菊間藩管下人民騷擾	三月	三十一
0893	一丸龜縣下元丸龜藩士暴動ニ付倉敷縣 ヲ捕七手ヲ出張セシム	七月	三十二
0894	非常 一御城内外及市中死骸行倒人取扱方	六月廿日	三十三
0895	一高速藩管内ニ倒死ノ僧及遺子取扱方	七月九日	三十四
0896	一各地方管内溺死人取扱方	五月廿五日	三十五

マイクロ
フィルム
番号

- 0902 一各地方管内溺死人取扱方ノ布告ヲ廢シ
地方官ニ於テ便宜ノ方法ヲ設ケシム 〇八年 三六
- 0903 一江藤少辨合藩人ノ為ニ傷セラレ 二月廿日 三十七
- 0905 一伏見宮家來至河左衛門大尉妻時殺セラレ 〇八年 三八
- 0906 一伏見宮家來箕田持監途中ニ於テ斬殺セラレ 〇九年 三十九
- 0907 一高松藩執政松崎海右衛門全藩人ニ斬殺セラレ 〇九年 四十
- 0909 一兵新省兵卒兼吉一橋藩士瀧村早次郎ニ斬殺セラレ 〇九年 四十一
- 0911 一山階宮家來落合露想途中ニ於テ傷セラレ 〇九年 四十二
- 0912 一徳島藩銃卒佐々木猪之丞途中ニ於テ斬殺セラレ 〇九年 四十三
- 0915 一彈正臺西長屋下ニ於テ町人躰ノ者殺害セラレ 〇九年 四十四
- 0916 一橋本家仲番山田彌三郎關殿ノ末眞傷ス 〇九年 四十五
- 0919 一元高倉家々來加藤冬之進口論ノ末京都令府卒神服鏗藏ニ殺サル 〇九年 四十六
- 0934 一京都府警固方鷹田文次郎妻イト元膳所ニ傷入文之助ニ傷セラレ 〇九年 四十七
- 0938 一元香春藩家老小官民部失職ヲ悔ヒテ屠ス 〇九年 四十八
- 0939 一高知藩谷神之助外三名島原閨門金澤藩ニ營所ニ於テ暴舉歸邸之上自殺ス 〇九年 四十九

マイクロ
フィルム
番号

- 0944 一川水永頼自殺ス 〇九年 五十
- 0945 一元東京府大属澁川直衛自殺ス 〇九年 五十一
- 0946 一舊幕府若年寄堀内藏頭屠腹ノ情状ヲ其申ス 〇九年 五十二
- 0947 一豊津藩兵卒川島薫五郎外二名汗行悔悟ニ自盡ス 〇九年 五十三
- 0948 一熊水藩安田助一箱館出張中自殺ス 〇九年 五十四
- 0949 一一條家々來村岸半八郎自殺ス 〇九年 五十五
- 0952 一豊津藩年中村勘次郎盜罪悔悟屠腹ス 〇九年 五十六
- 0953 一東京府別手組兵部甚左衛門自傷ス 〇九年 五十七
- 0956 一吉井民部權大丞家來田中秀次郎病中自殺ス 〇九年 五十八
- 0958 一福羽美靜門人山本正四位英人架馬ノ為ニ誤傷セラレ 〇九年 五十九
- 0960 一小塚原ニ於テ老人忠右衛門ナル者外國人サンドマン架馬ノ為ノ誤傷セラレ 〇九年 六十
- 0961 一盛岡縣器械方大内源記外數名合藥發火ノ為ノ死ス 〇九年 六十一
- 0964 一權内舍人高屋康功家來金次郎彦根藩邸下御堀ニ溺死ス 〇九年 六十二
- 0965 一東海道驛々鐵算人調査 〇九年 六十三

マイクロ
コマ番号

太政類典第一編第八十八卷索引

保民

警察

- 0975 幕府諸藩ニ令シテ江戸野内諸門ヲ警守慶應三年十月三日
- 0979 幕府再々諸藩ニ令シテ江戸外郭及ヒ各處慶應三年十一月五日ヲ警守ス
- 0982 江戸市街中劫盜横行スルヲ以テ舊幕府慶應三年十二月十日諸藩諸侯ニ諭シテ鎮緝ノ方ヲ陳セシム
- 0985 舊幕府諸藩諸藩ニ令シテ江戸私邸ノ旁近慶應三年十二月十日ヲ巡邏シ以テ劫盜ニ備フ
- 0986 徳川慶喜再々神原政敬ヲシテ東叡山元治元年正月廿四日ヲ警守セシム
- 0987 徳川慶喜黒田直養ノ新橋元治元年二月三日下警守ヲ罷メ
- 0988 前田利同ニ代リテ上野山内元治元年四月四日ヲ守ラシム
- 0989 池田備前守ニ東下元治元年四月四日ヲ命シ徳川残賊ノ乱行ヲ鎮壓セシム
- 0990 阿波藩へ城中取締ヲ命ス元治元年八月三日
- 0991 一橋大納言ニ鉄砲洲開市場諸門ノ警衛元治元年八月三日ヲ命ス
- 0992 田安竹橋矢來半藏四門ノ警衛元治元年十月朔日ヲ命ス
- 0993 間部内膳正以下五名ノ兵ヲ市中取締元治二年十月二日ト命ス
- 0993 吉田藩ノ坂下門並裏門警衛ヲ命シ吉田元治二年十月五日藩ニ代ラシム

マイクロ
コマ番号

- 0994 高松藩ニ坂下門並裏門警衛ヲ命シ吉田元治二年十月五日藩ニ代ラシム
- 0995 藤堂東之丞ニ西丸玄閤詰番ヲ命シ箱田元治二年十月十日藩ニ代ラシム
- 0996 藤堂東之丞ノ西丸玄閤詰番ヲ罷ム元治二年十月六日
- 0997 柳川藩ニ玄閤番ヲ命ス元治二年十月八日
- 0998 柳川藩ノ玄閤番ヲ罷ム元治二年十月八日
- 0999 紀州藩ノ中ノ口詰ヲ罷ム元治二年十月十日
- 1000 大総督府石川利政河内佐久間信義ヲ命シ河内佐久間信義元治二年十月十日ヲ罷ム
- 1001 徳川大納言以下廿八名ニ東京市中取締元治二年十二月五日ヲ命ス
- 1002 忍藩ニ令シ更ニ東京市中取締ヲ命ス元治二年十二月六日
- 1003 久松大藏少輔ノ東京市中取締ヲ罷ム元治二年十二月十日
- 1004 東京市中取締ノ諸藩進退ヲ軍務官ニ委元治二年正月九日任ス
- 1006 東京御車輦中取締ヲ嚴ニセシム元治二年四月四日
- 1007 東京府市中取締規則ヲ定ム元治二年五月
- 1008 東京府附屬曾我主水外十七名兵隊ヲ解元治二年十二月任ス
- 1009 水戸藩武田金次郎皇居御門等警衛元治二年
- 1010 毛利島津鍋島山内ノ四家京地警衛ヲ罷元治二年四月十日
- 1011 島津少將ニ令シ東京皇居守衛ノ兵員ヲ元治二年四月十日増サシム

マイクロ
ロマ番号

- 1012 一毛利山内鍋島三家ノ東京皇居守衛ヲ罷_{二月七日} 廿一
- 1013 一遠山益之助ニ濱殿表門ノ取締ヲ為_{五月十日} 廿二
- 1014 一戸田太郎ニ濱殿表門ノ取締ヲ命_{五月} 廿三
- 1015 一東京府ニ令シ兵部省所管ノ諸藩兵士ヲ_{十二月五日} 廿四
- 1019 一東京府府兵規則ヲ定_{十二月} 廿五
- 1022 一飯田藩ノ銀座守衛ヲ罷_{七月八日} 廿六
- 1023 一諸門並見附内外ノ洒掃等兵部省ヲ_{九月七日} 廿七
- 1024 一永井篤之助ニ濱殿門番ヲ命_{十一月十日} 廿八
- 1025 一城内非常隊備ノ為ノ東京府士族卒ヲ_{十二月} 廿九
- 1030 一非常隊士卒ノ心得方ヲ示_{二月十四日} 卅
- 1031 一諸藩兵隊東京諸所警衛處令_{三月} 卅一
- 1039 一東京府下取締ノ為ノ西洋ホリスノ法施行_{十二月} 卅二
- 1049 一東京府下武士地藩郎取締之法ヲ定_{二月} 卅三
- 1051 一東京府府兵局定額全支消ヲ開申_全 卅四
- 1053 一東京府下取締諸藩交代期限照會_全 卅五
- 1054 一堀内門並番所警衛事務ヲ兵部省ニ属_{三月八日} 卅六
- 1055 一土橋御門ニ守衛兵ヲ置_{三月} 卅七
- 1056 一ニ重橋外坂下門内ニ東京府貫属ノ非常_{三月八日} 卅八

マイクロ
ロマ番号

- 1057 一備フルモノヲ廢ス 廿九
- 1059 一久留里藩市中取締ヲ免_{五月十日} 五十
- 1060 一東京府市中取締等武大區出張所敷地ヲ_{六月十四日} 五十一
- 1061 一備前藩ニ西官守衛兵ヲ出シ加藤遠江守_{慶應三年十一月六日} 五十二
- 1062 一岡山藩ニ長州ト協議シ速ニ兵ヲ西官ニ_{五月四日} 五十三
- 1063 一岡山藩ノ西官警衛ヲ罷_{二月二日} 五十四
- 1064 一徳島藩稲田九郎兵衛西之官警衛_{正月十六日} 五十五
- 1065 一稲田九郎兵衛ノ請ヲ允シ西官警衛ヲ罷_{正月九日} 五十六
- 1068 一其臣三名ヲ京都ニ召_{二月廿一日} 五十七
- 1069 一薩摩藩ノ大坂市中取締ヲ免_{三月十日} 五十八
- 1070 一薩摩藩ノ大坂市街巡邏ヲ罷_{四月十五日} 五十九
- 1071 一藝州藩ノ大坂市中巡邏ヲ罷_{八月廿九日} 六十
- 1072 一松平右近將監ノ兵ニ大坂行幸ニ関_{三月十九日} 六十一
- 1073 一小倉藩ノ大坂市街巡邏ヲ罷_{七月廿七日} 六十二
- 1074 一岸和田藩ニ命シ其近國ノ故ヲ以テ大坂_{正月廿五日} 六十三
- 1075 一岸和田藩ノ大坂市街巡邏ヲ罷_{八月廿二日} 六十四

(マイクロ)
番号

1076	一 奥平昌服ニ命シテ大坂ヲ警衛セシム 二月 年	六十五
1077	一 柳河藩ニ命シ親征行幸中事ヲ大坂ニ周 旋シ且摂海ノ警守ニ從ハシム 二月 年	六十六
1078	一 福山藩ニ命シ大坂要衝ノ地ヲ警守セシ ム 二月 年	六十七
1079	一 中津藩ノ大坂表警衛ヲ免シ其人教テシ テ上京セシム 三月 年	六十八
1080	一 香春藩ニ阪地警衛ヲ命ス 五月 年	六十九
1081	一 九鬼長門守ニ神崎川沿岸舊ニ仍リ之ヲ 守ラシム 正月 年	七十
1082	一 阿波藩ニ令シ攝海警衛中岩屋臺場ヲ一 層嚴重セシム 二月 年	七十一
1083	一 岸和田府中久留米津山等諸藩ニ阪地近 傍ヲ警守セシム 二月 年	七十二
1087	一 府中藩ニ令シ紀州地出兵ヲ罷ノ尚ホ攝 海警衛ニ從事セシム 二月 年	七十四
1088	一 久留米藩神戸柳川藩ニ天保山ヲ警守セ シム 三月 年	七十五
1090	一 福山藩ニ西宮ヲ嚴守セシム 三月 年	七十六
1091	一 府中藩長ノ天保山警守ヲ罷ム 四月 年	七十七
1092	一 福山藩ニ令シテ大坂天保山ノ砲臺ヲ警 守セシム因リテ其西宮ノ守衛ヲ罷ノ尼 崎藩ヲ以テ之ニ代フ 四月 年	七十八
1093	一 福山藩ノ天保山警守ヲ罷ム 九月 年	七十九
1094	一 姫路藩ニ命シテ大阪天保山ヲ警守セシ ム 九月 年	八十

(マイクロ)
番号

1095	一 井伊直憲疾ヲ以テ自ラ大坂行幸ノ扈從 ヲ請フ能ハサルニ因リ老臣ヲシテ兵ヲ 率ヒテ沿路ヲ警護セシムント請フ命ヲ 得ス 二月 年	八十一
1096	一 柳澤保申大坂ニ赴キ安治川ノ守兵ヲ 督セント請フ之ヲ聴ス 三月 年	八十二
1097	一 郡山藩ノ安治川口警守ヲ罷ム 四月 年	八十三
1098	一 平戸藩ニ命シテ安治川口ヲ警守セシム 柳河藩ノ神戸警守ヲ罷ム尋テ阿波藩ヲ 以テ柳河藩ニ代ヘ其兵庫守衛ヲ罷ム 四月 年	八十四
1099	一 郡山藩ニ命シテ大阪安治川口並運上所 ヲ警守セシム 八月 年	八十五
1100	一 久留米藩ノ大坂運上所并橋本関門警衛 ヲ罷ム 八月 年	八十六
1101	一 久留米藩ノ大坂安治川新番所并安治川 口警守ヲ罷ム 九月 年	八十七
1102	一 長門藩ノ兵庫警衛ヲ罷ム 二月 年	八十八
1103	一 津山藩ノ大阪警衛ヲ罷ノ神戸港ヲ守ラ シム 四月 年	八十九
1104	一 徳島藩ノ兵庫警衛ヲ罷ノ之ヲ神戸ニ移 ス 四月 年	九十
1105	一 阿波藩ニ命シテ神戸ヲ警衛セシム 令 九月 年	九十一
1106	一 久留米藩ニ令シテ木津川口ヲ警守セシ ム 閏四月 年	九十二
1107	一 有馬頼咸ニ命シテ行在所通用御門ヲ守 ラシム 三月 年	九十三

マイクロ
コマ番号

- 1108 一 柳澤保申ニ命シテ東水願寺掛所通用門ヲ警衛セシム 元禄二年五月廿六日 九十四
- 1109 一 鳥取藩行在所傍近守衛スヘキノ地ヲ請フ 九十五
- 一 批シテ之ヲ鎮臺ニ請ハレム
- 1110 一 松平慶永ニ命シテ行在中西北柵門ヲ警衛セシム 元禄七年二月廿九日 九十六
- 1111 一 小倉藩ニ命シテ行在御門東南角柵門ヲ警衛セシム 元禄八年四月廿八日 九十七
- 1112 一 薩長ニ藩大坂城門ノ守衛ヲ罷メ古河藩ヲシテ代ラシム 元禄九年四月廿九日 九十八
- 1114 一 軍防局ニ令シ還幸後尚一層阪地ヲ嚴守セシム 元禄四年四月廿六日 九十九
- 1115 一 徳川中納言ニ精兵ヲ大坂ニ出シ警衛セシム 元禄七年二月廿九日 百
- 1116 一 徳川中納言ニ申令シ阪地警衛ニ勿論具取歸ヲ嚴ニヒシム 元禄六年三月六日 百一
- 1117 一 黒田少将ノ大阪警衛ヲ罷ム 元禄六年三月六日 百二
- 1119 一 松浦藩大坂川口ノ警衛ヲ免ヌ 元禄四年四月 百三
- 1120 一 神戸伏見警衛ノ藩兵交代 元禄五年 百四
- 1121 一 徳川中納言兵制改革ノ為メ大坂守衛ノ兵員ヲ減ス 元禄五年五月 百五
- 1123 一 造幣寮守衛隊ニ斷髪セシム 元禄七年十月廿七日 百六
- 1124 一 兵部省ニ令シ兵ヲ造幣寮ニ出シ之ヲ警守セシム 元禄七年十一月十六日 百七
- 1125 一 大阪府下番卒設置ノ處分 元禄四年六月 百八

マイクロ
フィルム番号

木政類典第一編第八十九卷索引

保民

警察 五上

- 1140 一 前田利徳、朝平門前警衛ヲ罷ノ松平慶應三年十一月九日
憲ヲ以テ之ニ代フ
- 1141 一 諸藩京師守衛ノ輩朝命ヲ以テ進退スヘ
ノヲ命ス
- 1143 一 守衛覺悟ノ條項ヲ定ム
- 1149 一 備前藩兵ヲシテ蛤門ヲ守ラシム
- 1150 一 長州藩ニ九門内外ヲ警邏セシム
- 1151 一 尾越土蒞藝五藩ニ御所警衛ヲ命ス
- 1152 一 津和野藩兵ヲシテ建春門ヲ守衛セシム
- 1153 一 諸藩警衛兵九門ノ外悉ク之ヲ罷ム
- 1157 一 十津川郷士ニ日御門唐御門臺所御門ヲ
- 1158 一 九門内外警衛諸藩ニ令シ嚴ニ取締ヲ為
- 1159 一 筑前藩ヲシテ石薬師清和院二門ノ間ヲ
- 1160 一 長門藩兵ヲシテ蛤下立賣二門ヲ警守セ
- 1161 一 阿州藩ニ亘秋門ノ警衛ヲ命シ宇和島藩
- 1163 一 府中藩ニ命シテ蛤門ヲ守衛セシム
- 1164 一 加賀藩ノ橋本閨門警衛ヲ罷シ今出川門

マイクロ
フィルム番号

警察ヲ罷ム

- 1165 一 十津川郷士ノ日御門唐御門臺所御門ノ
- 1167 一 伊達君狹守唐御門ヲ警衛ス
- 1168 一 松平和泉守御臺所御門ヲ警衛ス
- 1169 一 蛤御門警衛山口藩末冢兵隊交代
- 1170 一 薩摩藩ノ清所門警衛ヲ罷ム
- 1171 一 中川久成ニ御所御臺所口向御取締ヲ命
- 1172 一 西尾藩ノ清所門警衛ヲ罷ノ菟野藩ヲ以
- 1173 一 備前藩ノ清和門警衛ヲ罷ノ微兵ヲ以テ
- 1174 一 肥後藩ノ寺町門警衛ヲ罷ノ微兵ヲ以テ
- 1175 一 阿波藩ノ宜秋門及ヒ神ノ警衛ヲ罷ム
- 1176 一 人吉藩ノ日御門守衛ヲ罷ム
- 1177 一 彦根藩微發教次ニシテ兵卒給セサルヲ
- 1178 一 加賀藩ノ大宮御所桂宮今出川門警衛ヲ
- 1179 一 因幡藩ノ中五賣門警衛ヲ罷ム
- 1180 一 臼杵藩ニ中五賣門警衛ヲ命ス
- 1181 一 津藩ノ下立賣門警衛ヲ罷ノ微兵ヲ以テ
- 1182 一 加賀藩微兵ノ大宮御所桂御所及ヒ今出

マイクロ
コマ番号

1183	川門警守ヲ罷ノ紀伊藩撤兵ヲ以テ之ニ代ノ 東幸ニ付諸藩ノ警衛兵ニ九門内等一層九月五日 嚴ニ守衛セシム	九月五日	三十三
1191	吉田藩ノ唐御門警守ヲ罷ノ撤兵ヲ以テ九月十日 之ニ代ノ	九月十日	三十四
1192	皇居御車寄前御番所ノ警衛ヲ定ム	十一月四日	三十五
1193	九門内巡邏ノ藩々ヲ免ス	正月四日	三十六
1194	薩長土ノ九門内警衛ノ請ヲ却ケ各兵ヲ 備ハ置カシム	二月十日	三十七
1195	東幸御留守中諸藩ニ九門ヲ警衛セシム	三月六日	三十八
1197	御東幸御留守中諸藩ノ九門内巡邏ヲ解 ノ	九月五日	三十九
1198	御留守中諸藩警衛ノ兵員	十月	四十
1202	御留守警衛ノ廿五藩ヲ歸邑セシム	十一月一日	四十一
1203	宮門並九門警衛藩々交代ス	十二月五日	四十二
1205	宮門兵隊交代時限ヲ定ム	十二月十日	四十三
1206	西京御警衛ノ為ノ廣島岡山鳥取藩ヲシ テ更ニ一大隊出張セシム	十二月十日	四十五
1207	九門等警衛兵ノ屯所ヲ定ム	三月十五日	四十六
1208	宣秋門ノ御旗ヲ撤却ス	四月八日	四十七
1209	加藤能登守日ノ御門御旗ヲ警衛ス	五月八日	四十八
1210	加藤明實ノ日ノ御門御旗ノ守衛ヲ罷ノ 伊藤長許ヲ以テ之ニ代フ	三月十日	四十九
1211	日ノ御門御旗ヲ撤却ス	四月八日	五十
1212	水口藩ニ南門御旗警衛ヲ命ス	五月八日	五十一

マイクロ
コマ番号

1213	南門御旗ヲ撤却ス	四月八日	五十二
1214	幕府鍋島茂實松平定安ニ明春京師警衛 ヲ命ス	四月十日	五十三
1215	植村駿河守ノ傳法川警衛ヲ罷ノ京師ヲ 守ラシム	十二月十日	五十四
1217	鍋島茂實松平定安ノ家臣明春京都警衛 ノ事ヲ稟門ス是日批シテ仍ホ前命ニ從 ハシム	十二月十日	五十五
1218	長門藩ニ二條城傍近ノ文武館ヲ貸與シ 其巡邏兵ノ屯所トス	十二月十日	五十六
1219	巡邏六藩其令轄ノ區域ヲ定メ且其措置 ノ目ヲ稟ス	十二月十日	五十七
1221	加薩土及中川ニ命ニ洛中洛外ヲ巡邏セ シム	十二月十日	五十八
1222	同上	十二月十日	五十九
1223	加藤遠江守ノ市中巡邏ヲ免ス	十二月十日	六十
1224	山陰道鎮撫總督及久居藩等ニ出雲藩京 都警衛兵ノ経路ヲ妨クルナカラシム	十二月十日	六十一
1225	出雲藩警衛ノ器仗未分備具セサルヲ以 テ姑ク服後ノ期ヲ緩ヘンコトヲ請フ	十二月十日	六十二
1226	稲葉久通兵ヲ京師ニ出ス	十二月十日	六十三
1227	前田綱松ニ京都市中巡邏ヲ命ス	十二月十日	六十四
1228	高取藩ノ市中巡邏ヲ罷ム	十二月十日	六十五
1229	足守藩ニ市中巡邏ヲ命ス	十二月十日	六十六
1230	金澤藩市中守護被免ノ場所交代ノ藩々 ハ引渡	十二月十日	六十七

(マイクロ)
リール番号

- 1231 一横須賀藩ノ市中巡邏ヲ罷ム 元四年 閏四月五日 六十八
- 1232 一紀伊松代島原久居九龜臼杵諸藩ノ市中巡邏取締ヲ罷ム 元四年 閏四月五日 六十九
- 1233 一 大総督府田安慶頼ノ市街巡警ヲ罷ム 五月朔日 七十
- 1234 一 麻田藩ニ命シテ京都市中ヲ巡警セシム 五月十三日 七十一
- 1235 一 丹南藩ニ命シテ京都市街ヲ巡警セシム 五月廿日 七十二
- 1236 一 前田綱松ノ市中巡邏ヲ罷メ蹴上ヲ警守ス 五月廿日 七十三
- 1237 一 金澤藩ノ市中巡邏ヲ罷ム 五月廿日 七十四
- 1238 一 池田政禮ノ伏見巡撫ヲ罷メ專ラ猿ヶ辻ヲ守衛セシム 五月廿日 七十五
- 1239 一 池田政禮ノ伏見巡撫ヲ罷メ專ラ猿ヶ辻ヲ守衛セシム 五月廿日 七十六
- 1240 一 津和野藩ノ猿ヶ辻警衛ヲ罷ム 二月廿七日 七十七
- 1241 一 本願寺ノ猿ヶ辻警衛ヲ罷ム 四月八日 七十八
- 1242 一 本願寺猿ヶ辻警衛ヲ罷ム 四月九日 七十九
- 1243 一 高松藩ニ猿ヶ辻警衛ヲ命ス 五月七日 八十
- 1244 一 北條氏恭ヲシテ市橋長義ト共ニ四塚閣門ヲ守ラシム 十月廿日 八十一
- 1245 一 北條氏恭市橋長義ニ代リ四塚閣門ヲ守ラシム 慶應三年 十二月朔日 八十二
- 1246 一 彦根藩ニ四ツ塚閣門ヲ守ラシム 慶應三年 十月廿六日 八十三
- 1247 一 市橋長義小藩寡兵ヲ以テ四塚ノ守衛ヲ罷メ他役ニ版セントテ請ノ朽木為綱山陰道鎮撫使ノ令ヲ奉ヒテ兵ヲ久美濱ニ出スヲ稟ス 正月廿日 八十四

(マイクロ)
リール番号

- 1248 一 井伊直憲疾ヲ以テ老臣ヲシテ暴名征討ノ後ニ從ハレシ且四塚ノ守衛ヲ罷メト請フ之ヲ聽ス 正月廿日 八十五
- 1250 一 市橋長義軍行供張ノ命ヲ奉スルヲ以テ四塚守兵ノ撤否及ヒ其歸藩ノ可否ヲ稟請ス乃チ四塚ノ警守ヲ罷ム 二月十日 八十六
- 1251 一 高松藩ニ命シテ四塚閣門ヲ守ラシム 五月廿日 八十七
- 1252 一 高松藩ヲシテ兵ヲ東京ニ出シ四塚閣門並猿ヶ辻ノ警守ヲ罷メ松江秋月ニ藩ヲ以テ之ニ代リ 八月廿日 八十八
- 1253 一 織田信親江戸ヨリ京ニ抵リ塚原閣門ヲ守ルヲ稟ス 慶應三年 十月九日 八十九
- 1254 一 織田信親ノ城州塚原ノ警衛ヲ罷ム 九月八日 九十
- 1255 一 綾部藩ニ命シ更ニ城州塚原村陣屋下見張番所ノ警衛ヲ命ス 正月廿日 九十一
- 1256 一 小笠原長守ノ家臣竹田街道守衛ハ幕府ノ令ニ係ルヲ以テ其撤否ヲ稟請ス是日命シテ之ヲ撤シ後命ヲ待シム 慶應三年 十二月廿日 九十二
- 1257 一 小笠原長守家臣竹田街道閣門ノ存廢ヲ稟請ス是日命シテ之ヲ存セシム 慶應三年 十二月廿日 九十三
- 1258 一 高松頼聰ニ竹田街道近傍ヲ巡警セシム 三月十日 九十四
- 1259 一 松平讃岐人數ニ竹田街道東洞院近邊ヲ巡警セシム 三月十九日 九十五
- 1260 一 松平頼聰ノ家臣書ヲ上リ行在傍近ノ地ヲ守衛セントテ請フ警守既ニ備フルヲ以テ命シテ其兵ヲ還カシム 三月廿七日 九十六

(マイクロ)
ロマ番号

- 1262 一高松藩、竹田街道巡邏ヲ罷ム 元禄二年 九月廿九日 九七
- 1263 一是ヨリ先大野藩兵、嵯峨関門ヲ守ル関門 慶應二年 十一月廿二日 九八
- 原長防ノ為ニ設ク是ニ至リ去就ヲ稟請ス令レテ其戍ヲ撤ス
- 1264 一三日月藩、嵯峨口警衛ヲ罷ノ岡藩ヲ以テ之ニ代フ 元禄二年 九月十九日 九十九
- 1265 一加賀藩ニ兵ヲ橋本関門ニ出シ高取藩ニ 元禄二年 五月十日 百
- 十津川御ニ微カテ助ケシム
- 1266 一橋本関門警守ノ加賀藩兵外國人經過措 元禄二年 二月二日 百一
- 置ノ事ヲ稟請ス
- 1267 一金澤藩、橋本関門警守ヲ罷ノ久留未藩 元禄二年 八月廿九日 百二
- ヲ以テ之ニ代フ
- 1268 一郡山藩ニ命レテ橋本関門ヲ警守セシム 元禄二年 八月廿九日 百三
- 1269 一山崎戍兵ノ入京ヲ許ス 慶應三年 十二月廿九日 百四
- 1272 一津藩ニ令シ山崎関門ヲ守リ官軍ヲ救援 元禄五年 五月五日 百五
- セシム
- 1273 一津藩、山崎関門警衛ヲ罷ノ綾部藩ヲ 元禄六年 二月六日 百六
- テ代ラシム
- 1275 一出雲藩ニ山崎関門ヲ警衛セシム 元禄六年 二月九日 百七
- 1276 一松平定安疾ヲ謝シ支族直哉ヲシテ山崎 元禄六年 三月十九日 百八
- 関門ヲ定ラシメント請ヒ永井直諒其藩城行在ニ近キヲ以テ留リテ公事ヲ措置セント請フ並ニ之ニ聴ス
- 1277 一淀藩ヲシテ山崎関門ヲ警守セシム筑前 元禄六年 閏四月廿五日 百九
- 藩、堺港警守筑後藩ノ木津川口警守ヲ罷ノ出雲中津ニ藩ヲ以テ之ニ代フ

(マイクロ)
ロマ番号

- 1278 一松江藩、山崎警衛ヲ罷ノ泉州塚ヲ守 元禄六年 閏四月廿五日 百十
- シム
- 1280 一朽木之綱ノ山中関門ノ守衛ヲ罷ノ忍藩 元禄六年 四月廿五日 百十一
- ヲ以テ之ニ代フ
- 1281 一忍藩、山中関門警守ヲ罷ノ丸岡藩ヲ以 元禄六年 五月六日 百十二
- テ之ニ代フ
- 1282 一朽木之綱ニ命シテ山中関門ヲ警衛セシ 元禄六年 八月廿五日 百十三
- ム
- 1283 一丸岡藩、山中関門警守ヲ罷ノ更ニ鞍馬 元禄六年 二月十日 百十四
- 口警衛ヲ命ス
- 1284 一藤堂高邦宇治ニ赴キ自ラ関門ノ守衛ヲ 元禄六年 二月十日 百十五
- 檢セント請フ之ヲ聴ス
- 1286 一久居藩、宇治守衛ヲ罷ム 元禄六年 二月十日 百十六
- 1288 一本多忠民家臣伏見ヲ警守スル事項ノ稟 慶應三年 十月廿六日 百十七
- 請及ヒ三條實美等接待ノ事ヲ幕府ニ請門ス幕府令レテ稟請ハ始ク其舊ニ依ラシム
- 1289 一田官如雲ニ伏見市在ノ鎮靜ニ從事セシ 慶應五年 十一月廿日 百十八
- ム
- 1290 一薩藝長土四藩ニ命シ伏見市在ヲ巡邏鎮 慶應三年 十一月廿日 百十九
- 定セシム
- 1292 一池田政禮ニ命シテ兵ヲ出シテ伏見ヲ巡 元禄六年 正月九日 百二十
- 撫セシム
- 1293 一篠山藩兵ノ伏見取締ヲ罷ノ多度津藩兵 元禄六年 正月六日 百二十一
- ヲ以テ之ニ代フ
- 1294 一戸田氏共ノ家臣氏共伏見ノ変ヲ聞キ將 元禄八年 正月八日 百二十二

マイクロ
リール番号

- 1295 一 筑前藩ノ伏見警守ヲ罷メ津山藩ヲ以テ八月九日
之ニ代フ 百廿三
- 1296 一 岡山藩ニ大津ヲ警衛セシム 五月三日 百廿四
- 1297 一 水多康頼其邑東國ノ要衝ニ當ルヲ以テ正月四日
帰ヲ守備ヲ修セント請フ之ヲ聽ス又平 百廿五
- 一 大洲二藩ノ請ヲ允シ大津警備ヲ罷メ
再ヒ京師ヲ巡邏セシメ備前藩兵ヲシテ
大津ニ赴カシム
- 1299 一 因幡水支藩ニ令シ橋本関門ノ警衛兵ヲ正月十日
大津ニ出シ柏原藩ニ令シ山陰道鎮撫使 百廿六
- 一 守衛セシム
- 1300 一 濱田藩ニ大坂行幸中大津口巡邏ヲ命ス 三月十九日 百廿七
- 1301 一 水多康頼大津裁判所總督長谷信篤ノ命 三月廿五日 百廿八
- 一 以テ巡邏兵ヲ大津驛ニ出セシメテ粟ス
- 1302 一 興正寺摂信ノ大津守衛ヲ罷ム 閏四月廿日 百廿九
- 1304 一 松平武聡ノ家臣書ヲ上リ渋谷越ヲ警守 四月廿日 百三十
- 一 センロトヲ請フ
- 1306 一 松平武聡関門ヲ渋谷ニ設ケ大津口ノ還 五月廿日 百三十一
- 一 兵ヲ移シテ之ヲ守ラント請フ之ヲ聽ス
- 1308 一 幕名藩ノ公家門警衛ヲ罷メ薩州藩ヲ以テ 十二月廿日 百三十二
- 一 テ之ニ代フ
- 1309 一 宇和島藩公卿門ノ錦旗ヲ守衛ス 正月八日 百三十三
- 1310 一 遷行ニ付鳥取藩兵隊大坂ヨリ歸京 閏四月六日 百三十四

マイクロ
リール番号

- 1311 一 平戸藩ノ請ヲ可シテ奈良ノ守兵ヲ撤セ 二月十日 百三十五
- 一 シム
- 1312 一 京都七口警衛ヲ廢止ス 十二月一日 百三十六
- 1313 一 栗田口警衛ノ心得方ヲ伺定ス 二月廿日 百三十七
- 1315 一 長坂口警衛心得方ヲ伺定ス 九月廿日 百三十八
- 1316 一 警衛兵ニ令シ諸見附前架橋ノ擬寶珠其 二月十四日 百三十九
- 一 餘諸金具等看守取締ヲ為サシム
- 1317 一 諸見附守衛方ヲ定ム 二月十九日 百四十
- 1318 一 九國勝山鯖江三藩ノ兵隊敦賀港ノ警衛 二月廿日 百四十一
- 一 ヲ免ス
- 1319 一 櫻田馬場先和田倉ノ三門ノ非人門附等 六月廿日 百四十二
- 一 立入ルヲ禁ス
- 1320 一 伊勢正遷官奉幣ノ勅使藤波祭主并ニ忌 八月廿日 百四十三
- 一 部官幣守夔真継正六位等参向ニ付警衛
三十人石薬師ハ出張セシム
- 1321 一 神宮御警衛トシテ津藩ヨリ更ニ二小隊 十二月廿日 百四十四
- 一 出張セシム
- 1322 一 石清水社勢成辰變乱ノ際ハ幡官動坐ノ 十二月 百四十五
- 一 景況ヲ上報ス
- 1323 一 畠守官兵部省ニ令シ孝明天皇山陵勅使 十二月廿日 百四十六
- 一 参向ノ警衛兵ヲ出サシム
- 1324 一 市中取締兵隊ニ諸令達ノ下行方ヲ改メ 正月廿日 百四十七
- 1325 一 神祇官行幸御延列ナレトモ神門警衛ノ 正月二日 百四十八
- 一 兵隊ハ之ヲ出張セシム
- 1326 一 第三大隊非帯ノ節神祇官御神休警衛ヲ 四月十日 百四十九
- 一 免シ更ニ山口藩徴兵ヲ以テ之ニ代フ

マイクロ
フィルム
番号

- 1327 一 金澤藩、大森六郷邊ノ警衛ヲ罷ノ小田 四月十日 百五十八
原藩ヲ以テ之ニ代フ
- 1328 一 名古屋廣嶋岡山佐賀ノ藩兵及ヒ徳島藩 五月十日 百五十九
兵ヲシテ東京府守衛セシム
- 1329 一 兵部省外櫻田始ノ外諸門覆面頭巾等ニ 五月十日 百六十一
テ通行ヲ止セント候ス
- 1331 一 熊本藩兵ヲシテ長崎ニ遣リ又東京府守 五月十七日 百六十二
衛ヲ命ス
- 1332 一 金澤藩兵隊半大隊横濱へ出張セシム 五月十九日 百六十四
- 1334 一 金澤藩ノ市中取締ヲ免シ津藩ヲ以テ之 五月二十日 百六十五
ニ代フ
- 1335 一 竹橋櫻田等門衛兵ヲ交代セシム 五月三十日 百六十六
- 1336 一 神祇官ニ於テ仁孝天皇御祭典ニ付神門 五月三十日 百六十七
- 1337 一 警衛ノ兵隊ヲ出張セシム
- 1338 一 東京府下取締藩兵交代規則ノ有無ヲ兵 四月十日 百六十八
部省ニ照會ス
- 1339 一 竹橋門警衛藩兵ヲ交代セシム 四月十日 百六十九
後醍醐天皇六百年御追祭ニ付神祇官(四月二十日 百七十)
- 1340 一 東京警衛諸藩兵ヲ遣退ス 四月十日 百七十一
- 1351 一 神祇官祭典警衛兵ヲ出サシム 四月十日 百七十二
- 1353 一 出火警衛兵ノ出張場所ヲ定ム 三月三日 百七十三
- 1354 一 御城警衛ノ兵隊士官以上へ印鑑ヲ下附 三月十日 百七十四
- 1356 一 城内巡邏兵通行ノ除諸門差支ヲテ指令 百七十五
達ヲラレテ請フ

マイクロ
フィルム
番号

- 1357 一 新関門警戒兵規律ヲ定ム 四月二十日 百七十六
- 1359 一 大嘗會神門警衛兵ヲ出サシム 五月十九日 百七十七
- 1360 一 相生橋柵門以下五関門ノ警衛兵ヲ撤ス 四月二十日 百七十八
- 1361 一 東京府下警衛場所隊兵ノ用具ヲ定ム 六月 百七十九
- 1363 一 御廣式門辨官傳達所委任以下昇降口ノ 五月十日 百八十
警衛兵ヲ撤ス
- 1364 一 大手坂下両門非常出火ノ際出入心得方 六月三日 百八十一
ヲ同定ス
- 1365 一 巡邏兵規則ヲ定ム 七月十三日 百八十二
- 1366 一 諸門警衛兵ヲ遣退ス 七月十九日 百八十三
- 1367 一 名古屋縣兵隊淡路坂関門ノ取締ヲ免ス 七月十九日 百八十四
- 1368 一 各地警衛諸藩兵ヲ遣退ス 四月三十日 百八十五
- 1369 一 一字人参朝ニ付軍監心得方ヲ今ス 三月三日 百八十六
- 1370 一 米公使参朝沿路ヲ警衛セシム 四月十九日 百八十七
- 1371 一 獨乙國公使参朝ニ付皇城大手御門外ヲ 三月十日 百八十八
リ鍛冶橋御門内迄ノ沿道ヲ警衛セシム
- 1372 一 水戸藩ノ泉涌寺守衛ヲ罷ム 百八十九

マイクロ
リール番号

太政類典第一編第九十卷索引

保氏

警察

- 1387 一 長門因幡二藩ニ令シ三條實慶橋本實梁慶應二年十二月二日
長谷信篤ノ警衛兵ヲ出サシム
- 1388 一 薩尾藝越土五藩ヲシテ仁和寺官ノ衛兵慶應三年正月三日
ヲ出サシメ又安藝藩ヲシテ中山忠能ノ衛兵ヲ出サシム
- 1389 一 長門藩ヲシテ仁和寺官及正親町公董慶應三年十二月六日
衛兵ヲ出シ備前藩ヲシテ鳥丸光徳ノ衛兵ヲ出サシメノ安藝藩、仁和寺官及中山忠能ノ衛兵ヲ罷ノ山階官ノ衛兵ヲ出サシム
- 1390 一 長門藩士見兵寡少ヲ以テ仁和寺官及正親町公董、衛兵後軍、至ルヲ茲ニト請フ乃チ中川久昭修理大夫〇同藩王食封七百四十四石ヲシテ公董ノ衛兵ヲ出サシム
- 1391 一 薩摩藩ヲシテ仁和寺官ノ衛兵ヲ増シ備前藩ヲシテ中山忠能ノ衛兵ヲ出シ長門尾張二藩、仁和寺官ノ守衛ヲ罷ノ長門藩ニ有栖川宮ノ衛兵ヲ増サシム
- 1392 一 備前藩ヲシテ中山忠能ノ衛兵ヲ出サシ慶應三年正月八日
- 1393 一 織田仁親如藤恭令出陣封一〇新谷ヲシテ元正三年正月三日万里小路博房五條為榮ノ衛兵ヲ出サシ

マイクロ
リール番号

1394

- 1394 一 因幡森柏原三藩ヲシテ正親町三條實慶元正四年正月四日徳大寺實則徳波經度東久世通權ノ衛兵ヲ出サシム
- 1395 一 建部政世ヲシテ博經親王醍醐忠順ノ衛兵ヲ出サシム元正五年正月十五日
- 1396 一 郡山藩ヲシテ植松雅言西洞院信慶元正五年正月二日通旭東園基慶五辻安仲ノ衛兵各ニ出サシム
- 1397 一 郡山藩ニ令シ東園基敬ノ衛兵ヲ出サシ元正五年正月四日
- 1398 一 郡山藩、西洞院信慶ノ衛兵ヲ罷ノ慶宍元正五年二月二日通旭ノ衛兵ト為ス
- 1399 一 筑前藩ニ四條前侍從ノ警衛兵ヲ出サシ元正七年正月七日
- 1400 一 織田長易警尾隆聚ノ令ヲ以テ守兵ヲ慈恩寺村ニ置ク元正九年正月十九日
- 1401 一 織田信成警尾隆聚ノ令ヲ以テ兵ヲ慈恩寺村ニ出ス元正九年正月三日
- 1402 一 前田利嗣ニ大官御所警守ヲ命ス元正九年九月十六日
- 1403 一 毛利島津山内三家ニ大官御所ヲ守衛セシム元正九年二月十日
- 1404 一 酒井雅樂頭ニ大官御所真田信濃守ニ中酒井雅樂頭ニ大官御所ヲ警衛セシム元正九年二月十七日
- 1405 一 酒井雅樂頭ノ大官御所ノ警衛ヲ罷ノ桂官ノ守衛ト為シ又真田信濃守ノ中官御所警衛ヲ罷ム元正九年二月廿一日

マイクロ
番号

- 1406 一 大宮御所其外警衛ノ藩々調査
八月廿五年 廿二
- 1407 一 豊岡藩ニ桂御所警衛ヲ命ス
正月十四日 廿三
- 1408 一 久留米藩、桂官守衛ノ罷ム
九月廿五日 廿四
- 1409 一 豊岡藩、桂官警衛ノ罷ノ兵ヲ京ニ残留
八月廿三日 廿五
- セシム
- 1410 一 加賀藩、都下京極街以西、警守ヲ罷ノ
元月廿二日 廿六
- 島原横須賀ニ藩ヲ以テ之ニ代テ又彦根藩、桂官舊址及ヒ中山忠能藤波教忠職神副ニ家後門ノ警守ヲ罷ム
- 1412 一 池田中将ニ令シ桂官警衛ヲ為ラシム
九月廿五日 廿七
- 1413 一 池田武藏守ニ桂官警衛ヲ命ス
五月四日 廿八
- 1414 一 松平圖書頭ニ桂官警衛ヲ命ス
二月十七日 廿九
- 1415 一 松平圖書頭、桂官警衛ヲ罷ム
二月廿四日 三十
- 1416 一 酒井雅樂頭、桂官警衛ヲ罷ノ更ニ中宮御所ヲ守ラシム
三月五日 三十一
- 1417 一 本多平八郎ニ静寛院官警衛ヲ命ス
二月十七日 三十二
- 1418 一 細川從五位、桂官警衛ヲ罷ノ又岡崎藩、静寛院官警衛ヲ罷ノ兵部省ヲシテ之ヲ管セシム
十一月廿三日 三十三
- 1419 一 岡崎藩、静寛院官警衛ヲ罷ム
十一月廿三日 三十四
- 1421 一 大宮中宮御所桂官、警衛兵ヲ解ク
十一月廿五日 三十五
- 1422 一 薩摩藩ニ命シテ警尾隆聚ノ郎ヲ守衛セシム之ヲ辞ス建部政世モ亦華頂官ノ警衛ヲ罷ノント請フ之ヲ聽ス
三月九日 三十六
- 1424 一 新發田藩、華頂官守衛ヲ罷ノ令治藩ヲ以テ新發田藩ニ代テ
三月廿四日 三十七

マイクロ
番号

- 1425 一 加藤明實ニ敏之官警衛ヲ命ス
慶應三年 三十八
- 1426 一 加藤明實ノ内侍所警衛ヲ罷ム
十二月廿五日 三十九
- 1427 一 水口藩知事帰藩ニ付直役ノ者ヲ内侍所待所ヲ守衛セシム
七月廿一日 四十
- 1428 一 水口藩、内侍所警衛ヲ罷ム
四月廿一日 四十一
- 1429 一 加藤明實ノ泉山守衛ヲ罷ノ内侍所非常ノ守衛ヲ命ス
慶應三年 四十二
- 1430 一 加藤明實ノ内侍所警衛及市中巡邏等ヲ罷ノ加藤泰令ヲ以テ之ニ代テ
正月十日 四十三
- 1431 一 加藤明實ニ再内侍所守衛ヲ命ス
正月廿五日 四十四
- 1432 一 吉田侍從三位配下諸國社家ノ内侍所警衛ヲ罷ム
三月十九日 四十六
- 1433 一 神威隊ノ内侍所警衛ヲ罷ム
三月廿五日 四十七
- 1434 一 中川修理大夫ニ令シ東行中更ニ口向取締ヲ嚴セシム
九月十九日 四十八
- 1435 一 中川修理大夫ノ口向取締ヲ罷ム
三月十四日 四十九
- 1436 一 京都警衛諸藩ニ令シ親征行幸中一層警守ヲ嚴肅ナラシム共ニ
二月廿一日 五十
- 1441 一 加賀阿波薩摩三藩ニ令シ親征行幸中京師守護ノ事ヲ委任ス
三月廿二日 五十一
- 1443 一 薩長肥后四藩ニ令シ東幸中京師取締ヲ嚴肅ナラシム
九月九日 五十二
- 1447 一 京都還幸ニ付毛利錫島丹伊池田前田島津等ノ京師警衛及取締ヲ罷ム
九月廿四日 五十三
- 1448 一 東幸ニ関シ薩長彦肥四藩ニ命シ京都ヲ警守シ黒田美濃守ノ命ニ大阪ヲ警衛セシム
八月九日 五十四

(マイクロ
リール番号)

- 1451 一 東幸ニ関シ微兵ニ令シ節度ヲ守リ非情元四月 五十五
- ノ覺悟ニ急ラザラシム
- 1452 一 島津淡路守ニ東京行幸中女御ノ警衛ヲ元十月 五十六
- 命ス
- 1453 一 東幸ニ関シ微兵及ニ條並伏見練兵場ノ元十月 五十七
- 屯兵ニ令シ非情ノ覺悟ニ急ラザラシム
- 1454 一 竹腰伊勢守ノ京都守衛ヲ罷ノ植村羽前元十月 五十八
- 守ノ精兵五十人ヲ以テ之ニ代フ
- 1455 一 東京再幸ニ付京師警衛トシテ各藩ニ令シ元十月 五十九
- シ精兵ヲ出サシム
- 1458 一 京都府ニ令シ東幸中府下ノ取締ヲ嚴ニ元十月 六十
- セシム
- 1459 一 薩長ニ藩ニ令シ京地警衛及取締ヲ命ス元十月 六十一
- 1460 一 京都府ニ令シ東幸中京地守衛ノ平安隊元十月 六十二
- ニ紀律嚴肅警衛ニ急テサラシム
- 1461 一 池田武藏守ノ桂宮警衛ヲ罷ノ長岡左京元十月 六十三
- 亮ニ代テシム
- 1462 一 藤堂中将池田武藏守ニ令シ東幸中京師元十月 六十四
- 警衛及取締ヲ為テシム
- 1463 一 徳川三位中将ニ東幸中警衛トシテ上京元十月 六十五
- セシム
- 1464 一 徳川三位中将水多中參大輔酒井侍從ノ元十月 六十六
- 京都警衛ヲ罷ノ知藩事ニ任シテ帰藩セシム
- 1465 一 池田新從四位ノ東幸中京師警衛ヲ罷ム元十月 六十七

(マイクロ
リール番号)

- 1466 一 西大路藩御留守警衛並粟田口警衛被免元十月 六十八
- 1467 一 廣島藩御留守警衛兵隊交代元十月 六十九
- 1469 一 柳澤保申ニ泉涌寺警衛ヲ命ス元十月 七十一
- 1470 一 郡山藩ノ泉涌寺守衛ヲ罷ム元十月 七十三
- 1471 一 堀親義ニ命シテ般舟院ヲ警衛セシム元十月 七十四
- 1472 一 飯田藩ノ般舟院守衛ヲ罷ノ鯖江藩ヲ以元十月 七十五
- テ之ニ代フ
- 1473 一 石川日向守ニ命シテ輪王寺般舟院ヲ警元十月 七十六
- 衛セシム
- 1474 一 尾張藩ニ命シニ條城殘兵ヲ退カシテ嚴元十月 七十七
- ニ之ヲ警衛セシム
- 1475 一 二條城ヲ太政官代ト為シ尚ホ尾張藩ヲ元十月 七十八
- シテ警衛セシム
- 1476 一 徳川元千代ノ太政官代警衛ヲ罷ム元十月 七十九
- 1477 一 九國岡田飲肥三藩ニ太政官代警衛ヲ命元十月 七十九
- ス
- 1478 一 秋月藩ニ命シテ二條城ノ柵門ヲ守衛セ元十月 八十
- シム
- 1479 一 高島藩ニ命シテ二條城西野口柵門ヲ警元十月 八十一
- 衛セシム
- 1480 一 西條藩ニ命シテ二條城ノ柵門ヲ守衛セ元十月 八十二
- シム
- 1481 一 岡秋月ニ藩ニ條柵門ヲ警衛ヲ罷ム元十月 八十三
- 1482 一 安藝臼杵高島西條四藩ノ二條城ノ警衛元十月 八十四
- ヲ罷ム
- 1483 一 飲肥藩ノ二條城唐門ノ警衛ヲ罷ム元十月 八十五

マイクロ
番号

1484	一 丸岡藩、ニ條城門ノ警守ヲ罷ム 五月十四日 八十六
1486	一 櫻井遠江守永升日向守、西宮山崎間鐵 田出雲守、白川越坂水口ヲ警衛セシム 五月十六日 八十九
1488	一 郡山藩、白川越坂水口ヲ警守セシム 五月十四日 九十一
1489	一 分部光貞ノ京都東母坂守衛ノ請ヲ聽ス 五月十日 九十一
1491	一 分部光貞ノ請ヲ聽シ在京ノ兵ヲ撤シ專 テ殿山邊近ヲ警守セシム 五月十四日 九十一
1492	一 松浦詮ニ和州關峙ヲ警守セシム 五月九日 九十五
1494	一 平戸藩守兵ノ關嶺ニ出スヲ以テ郡山藩 ノ向背ヲ東請ス 五月十日 九十四
1495	一 郡山藩既ニ守兵ヲ關嶺ニ置ク且其封内 ニ屬スルヲ以テ平戸藩兵ト相策應スル 五月十六日 九十五
1496	一 平戸藩關峙ノ警衛ヲ撤シ其兵ヲ奈良ニ 移ス 五月廿日 九十六
1497	一 柳澤保申ニ洞ヶ峠泉涌寺兩所ノ警衛ヲ 命ス 五月廿日 九十七
1498	一 郡山藩、洞ヶ峠警衛ヲ罷ム 五月廿日 九十八
1499	一 渡邊章綱、泉州宇多邊海岸ノ警衛ヲ罷 ム 五月廿日 九十九
1500	一 久留米藩、泉州塚警衛ヲ罷ノ筑前藩 ニテ代ラシム 五月廿日 百
1501	一 出雲藩、塚警守ヲ罷ム尋テ之ヲ復ス 六月廿日 百一
1502	一 因幡水支藩兵ノ伏見出張ヲ罷ノ八幡橋 水邊ヲ警守シ小笠原長守ニ兵ヲ關峙 出サシム 五月廿日 百二

マイクロ
番号

1503	一 薩摩以下四藩ニ令シ親征行軍途次八幡 傍近ヲ警守セシム 五月十七日 百三
1504	一 小泉藩、八幡警守ヲ罷ノ對馬藩ヲ以テ 之ニ代テ 四月廿八日 百四
1506	一 對馬藩、八幡警守ヲ罷ム 六月十日 百五
1507	一 岡山八幡宮社司ノ八幡警守ヲ罷ノ柏原 藩ヲ以テ之ニ代テ 九月十日 百六
1508	一 小泉藩ニ令シ腰折地藏近傍ヲ警衛セシ ム 五月廿日 百七
1509	一 香春藩ニ令シ海軍補翼若王寺遠文下坂 ノ途次ヲ警守セシム 五月廿日 百八
1510	一 京都府ニ令シ久我大納言ノ發達警衛ノ 事ヲ管セシム 七月廿九日 百九
1511	一 中川修理大夫ノ正親町中持ノ警衛ヲ罷 ム 十月八日 百十
1512	一 京都府ニ令シ凱陣兵士ノ警衛ヲ為サシ ム 十月八日 百十一
1513	一 京都市民ニ紫宸殿ノ拜觀ヲ許スヲ以テ 京都府ニ令シ其警衛ヲ為サシム 二月四日 百十二
1514	一 京都府ニ令シ白馬節會ノ警衛ヲ為サシ ム 二月四日 百十三
1515	一 京都府ニ令シ踏歌節會ノ警衛ヲ為サシ ム 五月九日 百十四
1516	一 京都府ニ令シ御樂始ニ付警衛ヲ為サシ ム 五月廿日 百十五
1517	一 東幸中留守警守ノモノヲ勉勵セシム 三月六日 百十六

(マイクロ)
番号

- 1518 一 藤堂大亭頭ニ東幸中警衛ニ勉勵セシム 三月廿一日 百十七
- 1519 一 軍務官ニ令シ大官御所ノ下御靈神輿科ニ命ス 六月 百十八
- 御ノ警衛ヲ命ス
- 1520 一 兵部省ニ令シ月華門警衛ノ事ヲ管セシム 七月 百十九
- 一 大政官所命ノ京都警衛兵進退ヲ兵部省ニ管セシム 三月 百二十
- 1522 一 西京御所至皇族常備守衛ヲ廢ス 三月十日 百二十一
- 1523 一 官内省ニ令シ諸門以下常番等ヲ廢シ警衛兵ハ旧ニ仍ラシム 十二月 百二十二
- 1524 一 山口藩ノ城内守衛ヲ罷ム 九月十九日 百二十三
- 1525 一 京都七口守衛附集義隊ノ廢分 六月 百二十五
- 1528 一 兵部省ニ令シ京都七口諸藩ノ警衛兵ニ東幸中更ニ警衛スヘキヲ命セシム 九月廿一日 百二十六
- 1529 一 郡山藩ノ大原口及故兵部大輔並ニ衛留ニ命ス 十月十四日 百二十七
- 守衛衛ヲ罷シ大坂城ヲ守ラシメ又細川行真及利永ノ兵ニ大原口ヲ守ラシメ古河藩ノ大坂城警衛ヲ罷ム
- 1530 一 元集義隊ノ内ヲ以テ京都府ヲ警衛セシム 八月 百二十七
- 外國警衛 1532 一 外國人上京滯留中加賀尾張紀伊肥後備前出雲五藩ニ宿所警衛ヲ命ス 二月十七日 百二十八
- 1533 一 尾張筑前二藩ニ令シ英人上京途次ノ警衛ヲ命ス 二月廿五日 百二十九
- 1534 一 加賀藩ノ守人警衛ヲ蘭人ニ換ヘ津山外六藩ニ亦蘭人ノ警衛ヲ命ス 二月廿五日 百三十一

(マイクロ)
番号

- 1535 一 肥後阿波及紀伊外五藩至官津足守二藩ニ英人警衛ヲ命ス 二月廿六日 百三十二
- 1537 一 薩摩藩ニ佛人上京途次及滯留中ノ警衛ヲ命シ小濱以下四藩ニ宿所警衛ヲ命ス 二月廿六日 百三十三
- 1538 一 紀伊以下廿藩ニ令シ各國公使滯京中市見廻及ヒ取締ヲ為サシム 二月廿七日 百三十四
- 1540 一 各國公使参朝ニ付取締方心得ヲ令ス 二月廿七日 百三十五
- 1542 一 九門内外國人警衛ノ士ニ乘馬ヲ許ス 三月廿日 百三十七
- 1543 一 薩長藝紀以下各藩ニ令シ英公使参朝途次ヲ警衛セシム 三月二日 百三十八
- 1545 一 薩摩加賀筑前ニ佛蘭公使下坂ノ際衛送ノ事ヲ命ス 三月二日 百三十九
- 1546 一 加賀筑前二藩ニ蘭人参内ノ途次ヲ護衛セシム 三月二日 百四十
- 1548 一 紀伊以下及加筑等各藩ニ令シ英人ノ坂ヲ護送セシム 三月二日 百四十一
- 1551 一 佛英蘭三國公使京師ヲ辞ス加賀薩摩以下諸藩之ヲ衛送ス 三月四日 百四十二
- 1556 一 徳川龜之助ニ令シ外國人警衛兵ヲ出ス 六月七日 百四十五
- 1557 一 市政裁判所ニ令シ外國人警衛兵ヲ出ス 六月九日 百四十六
- 1558 一 宇和島藩ニ申ネテ鐵砲洲外國人居留地ノ取締ヲ命ス 十二月九日 百四十七
- 1559 一 外國人護衛別手組八十人ヲ軍務官ニ屬シ 三月廿四日 百四十八

マイクロ
第一編
八保
民

リール番号
1563
1565

一 開成學校教師警衛、別手組處分
一 南校教師護衛ニ所用、架馬ヲ購買ス
五月 辛酉
五月 百辛

(マイクロ番号)

太政類典第一編第九十一卷索引

保民

警察セ

- 1579 本警衛 大津裁判所設置ニ付河州藩、近江國取 三月十一日
- 1580 一 蜂須賀少將願ニ依ラテ全上 九月廿四日
- 1581 一 石川成之ヲシテ鈴鹿切處及傍近緊要ノ 五月廿日
- 1582 一 本多忠貫、両官守衛神領支配旧ニ仍テ 二月四日
- 1583 一 藤堂佐渡守ニ伊勢神官警衛ヲ命ス 七月廿日
- 1587 一 神官警衛農兵隊ノ處令 正月 年
- 1588 一 久居藩神官警衛人教減負 八月廿九日
- 1589 一 鳥取藩兵隊、度會縣警衛ヲ免ス 十一月八日
- 1590 一 藤堂和泉守ニ命シテ勢海要衝ノ地ヲ戒 九月八日
- 1592 一 津名古屋西藩ニ命シテ桑名取締ヲ嚴ニ 九月十日
- 1593 一 勢海要衝ノ地ナルヲ以テ稻垣次郎藤堂 九月十日
- 1595 一 大河内信古ニ命シ旧ニ仍リテ今切間門 九月廿日
- 1597 一 幕府太田資美水野忠敬田沼意尊ヲシテ 正月廿四日
- 1599 一 太田資美駿府ノ守兵ヲ撤センコトヲ幕府 二月六日

(マイクロ番号)

ニ請フ之ヲ許ス

- 1600 一 津郡山岡島原杵築人吉ノ六藩ニ命シテ 五月廿日
- 1603 一 伏谷如水、駿州市中取締ヲ免ス 六月九日
- 1604 一 大総督府駿府城傍近警衛ノ諸兵ヲ罷ノ 七月十九日
- 1605 一 杵築藩、駿府警衛ヲ罷ノ甲府ヲ警衛セ 八月九日
- 1607 一 徳島藩兵隊甲府縣ニ出張 二月廿日
- 1609 一 大久保加賀守江川太郎左衛門ニ領内取 五月六日
- 1610 一 大久保岩丸並韭山縣ニ箱根山中巡邏ヲ 三月廿日
- 1612 一 全澤藩兵隊横濱守衛ノ為ノ出張 正月 年
- 1613 一 六浦藩、神奈川縣取締ヲ免シ新發田藩 六月九日
- 1615 一 松平主税頭堀右京氏ニ品川驛警衛ヲ命 十月廿日
- 1616 一 小見川藩、品川驛取締ヲ免シ岩寄藩ヲ 二月廿日
- 1617 一 品川縣下戌兵増加ヲ請フ 五月 年
- 1619 一 浦和縣々兵ヲ置ニテ請フ允サス近傍 五月 年
- 1624 一 小菅縣下取締ノ為捕七吏ノ兵器ヲ購買 二月 年
- 1626 一 幕府板倉勝殿ヲシテ碓氷關ノ守ヲ嚴ニ 正月廿日

マイクロフィルム
番号

- 1627 戸田光則大河内輝照同上 五月十日 三十
- 1629 前橋少将ニ上野全園鎮撫ヲ命ス 五月六日 三十一
- 1630 同上被免 九月十日 三十二
- 1631 同藩ニ富津出張ノ兵隊ヲ以テ佐貫表ハ 八月七日 三十三
- 1632 分配警衛セシム
- 1632 上武野三州ノ農民蜂起セルヲ以テ大音 六月廿六日 三十四
- 龍太郎ヲ軍監兼知縣事ト為シ派遣ス
- 1633 若松脱走ノ賊徒両野州ニ潜伏セルヲ以テ 八月 三十五
- 松平大和守外十九名ニ命シ各領内ヲ 戒嚴セシム
- 1634 水野下総守ニ両総領地并傍近取締ヲ命 九月廿七日 三十六
- 並武為
- 1635 細川中将ノ武総兩國取締ヲ免ス 五月五日 三十七
- 1636 笠間藩領内取締ノ為ノ東京詰兵隊ヲ帰 十月 三十八
- 國セシム
- 1637 水戸騷乱ニ付武田金次郎ノ守衛ヲ免シ 十月 三十九
- 婦國セシム
- 1638 館林藩ニ命シテ蘆野辺ヲ守衛セシム 六月十日 四十
- 日光 1639 藝州藩ニ日光山内及市郷取締ヲ命ス 七月十日 四十一
- 1640 同藩ノ日光警衛ヲ免シ今市表ハ出張セ 八月十日 四十二
- シノ又中津令治人吉三藩ノ今市出張ヲ 免シ日光警衛ヲ命ス
- 1641 日光縣下取締ノ為ノ銃器彈藥ヲ交付ス 十月九日 四十三
- 1643 日光縣士族卒ヲ以テ警衛ノ諸入費下付 五月 四十四
- ノ事ヲ候ス

マイクロフィルム
番号

- 1646 若松縣戍兵進退ノ慶令 九月 四十五
- 1652 兵部省ニ令シ若松縣取締ノ為ノ傍近諸 七月四日 四十六
- 藩ニ兵ヲ出サシムハキヲ達セシム
- 1658 同上諸藩ノ出兵ヲ免ス 十一月八日 四十七
- 1661 一年都官藩ヨリ捕七七名若松縣ハ出張ス 二月廿七日 四十八
- 1662 兵部省底務司官負若松縣下巡察隱密探 三月 四十九
- 偵ノ手續ヲ候ス
- 1671 斗南藩ノ若松縣ハ立戻リ及贖札製造 四月 五十
- ノ者取締
- 1672 白川縣下取締ノ為ノ近藩ヨリ捕七ノ者 五月 五十一
- ヲ派出セシム
- 1675 旧幕府間部詮道ノ敷賀港守衛ヲ罷ム 十月廿日 五十二
- 1676 酒井忠氏ニ敷賀港ノ守備ヲ嚴ニセシム 九月三日 五十三
- 共ニ
- 1678 有馬遠江守外二名ノ敷賀港警衛ヲ免シ 二月十九日 五十四
- 酒井若狹守ヲ以テ之ニ代フ
- 1679 米倉丹後守ニ命シテ金澤並中里ヲ警衛 八月五日 五十五
- セシム
- 1680 新潟府ハ戍兵差遣ニ付到着ノ際取扱方 十月廿日 五十六
- ヲ同府ニ令ス
- 1681 一番山藩兵隊ヲ以テ越後戍兵ト為ス 十一月八日 五十七
- 1682 越後按察府同國戍兵處令ノ事ヲ候ス 二月 五十八
- 1686 新潟長崎兩縣戍兵常費ハ藩費関門並配 四月 五十九
- 兵所修繕費ハ地方官ヨリ支出セシム
- 1688 箱館 佐竹右京大夫外四名ニ箱館裁判所警衛 九月廿四日 六十
- ヲ命ス

マイクロ
コマ番号

- 1690 一 松前志摩守ノ請ヲ許シ箱館裁判所金鼓元九月十九日 六十一
等ノ事ヲ委任ス
- 1691 一 佐竹右京大夫箱館警衛ヲ辞ス因テ奥羽元十月十日 六十二
鎮撫使ニ令シテ之ヲ處理稟報セシム
- 1692 一 水莊彈正忠在所表北門鎖鑰ノ地ナルヲ元五月七日 六十三
以テ命シテ守備ヲ嚴セシム
- 1693 一 箱館在来ノ兵隊ニ同港取締ヲ命セシニ元四月十七日 六十四
付軍監一名出張
- 1694 一 箱館新鴻両港取締手薄ナル時ハ傍近諸元四月十七日 六十五
藩ハ出兵ヲ命セシム
附 京都大坂兵庫取締
十津川1696 一 徳川中納言外五名ノ十津川郷取締ヲ免元六月廿日 六十六
- 1697 一 兵庫縣下選卒設置ノ處分元二月 六十七
- 奈良縣1698 一 奈良縣捕込吏増置元四月十日 六十八
- 1699 一 五條縣捕込吏増置元四月十日 六十九
- 生野1701 一 山名義濟ニ但州生野守衛ヲ命ス元九月九日 七十
- 冬美濱1702 一 下大夫小出大和守外二名ニ丹後久美濱元正月七日 七十一
警衛ヲ命ス
- 濱田縣1703 一 津和野藩兵濱田縣警衛ノ為ノ出張元三月十日 七十二
- 1704 一 濱田縣捕込組五十人ヲ設ニテ請フ元七月 七十三
- 倉敷縣1706 一 倉敷縣邑集高知藩兵々食支給方ヲ候ス元四月 七十四
- 宮谷縣1707 一 宮谷縣下取締ノ為ノ兵隊ヲ取立ニテ請フ元五月 七十五
- 讃岐1710 一 備前藩讃岐諸島ノ警守ヲ土佐藩ニ交付元二月九日 七十六
スルヲ稟ス

マイクロ
コマ番号

- 1711 一 高知藩、讃岐國金毘羅社領鎮撫ヲ免シ元十月十日 七十七
倉敷縣アリテ管セシム
- 姫路1712 一 兵庫縣ノ姫路取締ヲ罷ノ酒井直之助ヲ元五月 七十八
以テ之ニ代フ
- 長崎1713 一 平戸藩長崎茂木口番警衛引拂ノ請ヲ聽元正月十日 七十九
- 1714 一 筑前肥前兩藩ノ長崎警衛旧ニ仍ラシム元正月十日 八十
- 1715 一 黒田長博老臣ヲシテ長崎ヲ按行セシメ元二月十日 八十一
其他異狀ナキヲ稟ス
- 1716 一 大村純熙ニ長崎取締ヲ命ス元二月 八十二
- 1717 一 同上被免元二月 八十三
- 1719 一 松平忠和ノ家臣長崎警衛ノ事ヲ稟ス令元二月六日 八十四
シテ旧ニ仍ラシム
- 1720 一 筑前肥前兩藩ノ長崎警衛ヲ免シ元八月十日 八十五
際ハ速ニ出兵セシム
- 日天集1721 一 細川慶順日田天草警衛ノ事ヲ稟ス令シ元正月廿日 八十六
テ暫ク旧ニ仍ラシム
- 1722 一 日田縣警戒兵ヲ置カンテ請フ元四月 八十七
- 二階町1724 一 筑前藩其兵ヲ陸奥ニ出セシテ以テ二階元五月三日 八十八
町ノ守衛ヲ罷ラント請フ之ヲ聽ス
- 1725 一 松平隱岐守父子處置濟ニ付山内上佐守元五月五日 八十九
ノ取締ヲ免ス
- 1726 一 岡山藩、板倉伊賀守家来垂城地取締ヲ元八月二日 九十
免ス
一 醍醐忠順大坂ハ下向ニ付途中警衛ヲ守元正月七日 九十一
和島藩ニ命ス官規任免

マイクロ第一編
八保 民

雑記

一 松平右近將監人教ヲ以テ神武帝山陵奉^{九月五日}
幣使ヲ警衛セシム^{教法}

一 廣幡内大臣勅使トシテ勢州へ發向ニ付^{九月十日}
藤堂高邦ニ令シテ警衛セシム^{令上}

一 奉幣使ヲ太神宮ニ發遣スルヲ以テ松平^{九月二日}
主計頭ニ命シテ途中警守セシム^同

一 警尾侍從清京ニ付勅使警衛兵隊ニ令シ^{九月十日}
附屬守衛セシム^{九月十三}

一 奉迎ノ為メ德波三位藤澤驛へ差遣ニ付^{九月}
高松藩兵ニ命シテ途中警衛セシム^{教法}

一 志筑伊州兩藩ニ命シテ岩倉補相著府ノ^{九月八日}
節守衛セシム^{九月十五}

一 三條右大臣澳太利公使館へ出向ニ付兵^{九月十日}
部省兵隊ヲシテ警衛セシム^{九月十六}

一 諸社例祭勅使等發遣ノ節兵部省兵隊ノ^{四月廿日}
護衛ヲ止メ沿道地方官ヲヒテ護送セシ^{九月十七}

一 徳川慶勝ニ歸國ヲ命シ徳川賊徒ノ警備^{九月五日}
ヲナサシム^{九月十八}

一 大官桂宮等使者下坂スルヲ以テ其從者^{九月三日}
等ニ不法ノ所為ナカシム^{宮内行幸}

一 紀州藩ニ行幸途次烏羽城離宮境内ヲ守^{九月朔日}
衛セシム^{令上}

一 紀州以下三藩ニ令シ親征行幸ノ際城南^{九月三日}
離宮ヨリ淡ニ至ル沿道ヲ守衛セシム^{令上}

マイクロ
二九四

一 十律川郷士ニ親征行幸途次守衛ヲ命ス^{九月十日}
令上

一 横須賀大多喜二藩ニ命シ鳳輦着御ノ沿^{九月八日}
路ヲ警衛セシム^{令上}

一 長門軍相出ス所ノ兵ニ毎夜御泊所ヲ警^{九月六日}
衛セシム^{令上}

一 十津川徴士へ御東幸供奉ヲ命シ道中ヲ^{九月十四日}
警衛セシム^{令上}

一 徴兵一大隊ヲ東京ニ先看セシメ該地ヲ^{九月八日}
警衛セシム^{令上}

一 還幸沿道ノ府縣ニ警衛兵ヲ出サシム^{九月五日}
令上

一 東幸駐輦中府下ノ取締ヲ嚴ニセシム^{九月二日}
令上

一 神祇官行幸ニ付兵部省ヲヒテ途次ヲ警^{九月廿日}
衛セシム^{令上}

一 各國公使参朝ニ付途次取締方ヲ各藩ニ^{九月七日}
命ス^{外國交際奉}

一 各國公使看原當日市中取締三藩ニ命シ^{九月}
警衛諸藩ト取締ヲ嚴ニセシム^{令上}

一 各國公使参内薩長藝三藩ニ命シ日御門^{九月九日}
内外ヲ警衛セシム^{令上}

一 英公使参朝更ニ途次取締方ヲ嚴ニセシ^{九月二日}
ム^{令上}

一 佛國公使下坂警衛ノ藩ヲ定ム^{九月三年}
令上

一 各國公使参朝途次ノ警戒ヲ為サシム^{九月三年}
令上

一 鐵砲洲居番地取締ヲ更ニ宇和島藩ニ命^{九月二年}
ス^{外國交際開港}

一和州畝傍山陵外二陵ニ勅使参向加州藩 五月二日
警衛教法祭典ニ載ス

一神武帝山陵使参向加州藩警衛ニ全上 元
五月五日

一春日祭社頭警衛ニ全上 五月十日
五月十七日

一高松高槻ニ藩兵ニ命シ孝明天皇小祥忌 慶應三年
正月廿五日

一孝明天皇御一周忌泉涌寺殿舟院御代查 全
加州藩警衛ニ全上

一廣幡内大臣勅使トシテ努州へ發向ニ付 元
四月廿五日

一奉幣使ヲ太神宮ニ發遣スルヲ以テ松平 元
九月二日

一主計頭ニ命シテ途中警衛セシムニ全上
一加茂例祭御蔭祭社内警衛市中取締藩々 元
八月八日

一命ニ全上